

第2章 環境・教育・文化

～郷土を愛する心豊かなひとをつくる～

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	ecoライフ促進支援事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	市民環境部環境保全課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	第2次釧路市環境基本計画
目的と概要	『第2次釧路市環境基本計画』では、2050年カーボンニュートラルを見据えたうえで2030年低炭素社会の形成という目標を掲げており、これを達成するためには市民一人ひとりの意識向上やライフスタイルの転換に向けた普及啓発が肝要である。本事業は、省エネ・再エネ設備の設備導入費用の一部を補助することで、家庭部門における脱炭素化に向けた取り組みに寄与する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果		
1 補助概要	1 補助実績		
対象設備	金額 (千円)	補助予定数 (件)	予算額 (千円)
①-1定置用蓄電池(太陽光発電システム同時設置)	150	15	2,250
①-2定置用蓄電池(蓄電池のみ)	60	20	1,200
②家庭用燃料電池	200	3	600
③ガスコジェネレーションシステム	60	15	900
合計		53	4,950
<p>2 CO₂排出削減効果見込</p> <p>○当初計画の年間削減量</p> <p>①-1定置用蓄電池(太陽光発電システム同時設置) ▲3.0t × 15台 = ▲45.0t</p> <p>①-2定置用蓄電池(蓄電池のみ) ▲1.0t × 20台 = ▲20.0t</p> <p>②家庭用燃料電池 ▲1.5t × 3台 = ▲ 4.5t</p> <p>③ガスコジェネレーションシステム ▲0.7t × 15台 = ▲10.5t</p> <p style="text-align: right;">合計 ▲80.0t(※)</p>			
<p>2 CO₂排出削減効果見込</p> <p>◎補助を受けた設備による年間削減量</p> <p>①-1定置用蓄電池(太陽光発電システム同時設置) ▲3.0t × 15台 = ▲45.0t</p> <p>①-2定置用蓄電池(蓄電池のみ) ▲1.0t × 18台 = ▲18.0t</p> <p>②家庭用燃料電池 ▲1.5t × 2台 = ▲ 3.0t</p> <p>③ガスコジェネレーションシステム ▲0.7t × 20台 = ▲14.0t</p> <p style="text-align: right;">合計 ▲80.0t(※)</p>			
<p>※ 実際の削減量は居住形態の変遷や世帯人数により変動するため、数値は推計値。 CO₂排出量はメーカーカタログ等より算定している。</p>			

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		2,040	4,930	9,000
財源	一般財源 (千円)	2,040	2,280	9,000
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		2,650	
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	14,134	21,120	21,645
①	職員数 (人)	2.0	3.0	3.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		31.0	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等




令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。		該当する自己評価結果をリストから選択してください。	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 家庭における省エネ、再エネ設備の導入は、高額な初期費用が普及の妨げの一因となっている。目標の達成に向けた制度設計や、対象となる設備等について常に研究していく必要がある。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 家庭における省エネ、再エネ設備の導入に向けたニーズや意識向上が見られるものの、高額な初期費用が普及の妨げの一因となっている。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 2050年カーボンニュートラルを目指した社会を見据え、さらに高い効果が期待できる補助対象設備や要件等を検討する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 2050年カーボンニュートラルを目指した社会を見据え、目標の達成に向け、市民のニーズ等を踏まえた制度設計や、効果の高い補助対象設備の選定・要件等について研究する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	共用車購入事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	総務部契約管理課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	第2次釧路市環境基本計画
目的と概要	「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、温室効果ガス削減への取り組みの一つとして環境に配慮した次世代自動車の導入を進める。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>1 車両の更新 4台(共用車)</p> <p>【令和4年度予算・支出】 計 10,222千円</p> <p>①普通乗用車 プラグインハイブリッド 4,915千円</p> <p>②軽自動車(3台分)ハイブリッド 5,307千円</p>	<p>1 車両の更新 4台 寄贈 1台 :合計 5台</p> <p>【令和4年度決算・支出】 計 8,633千円</p> <p>①普通乗用車 プラグインハイブリッド 4,072千円</p>  <p>②軽自動車(3台分)ハイブリッド 4,531千円</p>  <p>③普通乗用車 プラグインハイブリッド(寄贈) 30千円※</p>  <p>2 導入の成果</p> <p>令和4年度は次世代自動車のうち、プラグインハイブリッド車を2台(寄贈1台)、ハイブリッド車3台、合計5台を導入した。</p> <p>プラグインハイブリッド車はガソリンに加え、車外からの充電による走行が可能であり、低燃費のハイブリッド車も順調に増車しており、脱炭素化社会実現向け、温室効果ガス削減への取り組みに寄与している。</p> <p>3 令和4年度末 共用車次世代自動車台数 6台</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)			8,633	9,093
財源	一般財源 (千円)	0	1,283	993
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)		7,350	8,100
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	0	704	0
①	職員数 (人)		0.1	
参考	市民一人あたりの費用 (円)		54.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		46.2	
注1) 釧路市の人口 159,014人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/>		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/> <input type="text" value="継続維持"/>	
課題	評価を実施していないため、空欄となります。	課題	<ul style="list-style-type: none"> 将来的には所有する公用車全車の電動化を目指しているところであるが、本庁舎においては普通充電器等の増設が電気設備の能力を鑑みて限界であり、防災庁舎については設置は可能であるものの、一定の整備費用を要するものであることから、充電設備の整備手法について検討する必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	評価を実施していないため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 電動車のラインナップが未だ少なく高額となっている点などを踏まえ、電気自動車等の開発状況のほか、脱炭素に関する国の動向や道内他都市の取組を注視するとともに、災害時等における活用等を研究しつつ、導入車種の検討を行い、次世代自動車の導入を順次進めていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	世界自然遺産登録推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部都市経営課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	阿寒湖及び周辺地域の世界自然遺産登録を目指し、関係機関、関係団体との情報の共有と登録に向けた運動の展開を図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		266	170	1,740
財源	一般財源 (千円)	266	0	1,740
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		170	
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		1.1	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>①学識者による調査研究活動の推進 釧路国際ウェットランドセンター 阿寒湖沼群・マリモ研究室 室長 若菜 勇 氏 を中心とする学術調査研究チームにより、世界自然遺産登録の学術的根拠となる研究活動を推進する。</p> <p>阿寒地域の自然環境の顕著で普遍的な価値を示す</p> <p>世界自然遺産登録基準(クライテリア)を意識 ◆クライテリアⅧ(地形・地質的)・クライテリアⅨ(生態系) 【阿寒カルデラ湖沼群】(投稿目標:令和4年度) ◎様々な遷移段階にある湖沼生態系の標本庫であることの証明 【噴気帯および温泉群】(投稿目標:令和4年度) ◎中性・酸性・塩基性の順に変化する火山生態系の標本庫であることの証明</p> <p>◆クライテリアⅦ(自然美)・クライテリアⅩ(生物多様性) 【マリモ】(投稿目標:令和4年度以降) ◎阿寒の生態系と生物多様性を象徴する生物であることの証明 ◎球化する生物の典型例であることの証明 ◎世界で最後に残された貴重な生育地であることの証明</p>	<p>①学識者による調査研究活動の推進 令和4年度論文投稿目標の課題について ◆クライテリアⅧ(地形・地質的)・クライテリアⅨ(生態系) 【阿寒カルデラ湖沼群】 ○令和4年度実績 ・令和3年度末までに米科学誌(プロスワン)に投稿したが、内容が掲載対象でないケーススタディに当たるとして却下された。内容を修正のうえ、令和4年に蘭の陸水・海洋生物学の専門誌(ハイトロバイオロジー)に再投稿し、掲載に向けて指摘された箇所の修正を行っている。 ・ブックエンドが発行するBIOCITY90号、「世界遺産条約50周年特集号」に「世界遺産をめぐる日本の自然・文化資産—『マリモの阿寒湖』と周辺の湖沼・湧泉群」を発表し、新知見の普及に努めた。</p> <p>【噴気帯および温泉群】 ○令和4年度実績 ・コロナ禍で論文作成に必要な追加調査を実施できず、保留となっている。</p> <p>◆クライテリアⅦ(自然美)・クライテリアⅩ(生物多様性) 【マリモ】 ○令和4年度実績 ・国立遺伝学研究所等との共同研究により、マリモの微生物相に関する研究成果を日本農芸化学会が発行する「化学と生物」に発表した。</p>
<p>②市民の機運醸成 阿寒湖及び周辺地域の世界自然遺産登録を目指す取組をPRするため、「くしろ阿寒百年水」ボトルに貼付するPR用シールを作成</p>	<p>②市民の機運醸成 ○令和4年度実績 ・「くしろ阿寒百年水」ボトルに貼付するPR用シールの作成を予定していたが、コロナ禍の影響で各種イベントが中止になり、ボトルを配布する機会がなかった為、作成を見送った。また、令和4年度で「くしろ阿寒百年水」の製造は終了した。 ・7月30日に開催した「阿寒湖周辺スタディートリップ」で、最新の研究成果を市民に普及・解説した。</p>



3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 拡充	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 世界自然遺産の登録物件は、生態学の教科書に掲載されるような典型事例であると同時に、対象となる現象が他では見られない希少性を合わせ持つことが必要である。こうした特殊な事情が、論文受理が困難になっている主たる理由と考えられることから、的確な分析に立って内容を修正し、適切な学術誌に再投稿する。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 阿寒地域が世界自然遺産に値することを証明するためのクライテリアの充実に向け、更なる知見の集積を進めつつ、学術誌への投稿を行う。併せて市民の機運醸成に努める。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 阿寒地域が世界自然遺産に値することを証明するためのクライテリアの充実に向け、研究成果を引き続き国際誌に発表するとともに、様々な媒体を通じて環境省やUNESCOなど関係者に向けた情報発信に努める。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年4月23日にハイトロバイオロジーの電子版に阿寒カルデラ湖沼群の論文が掲載された。この知見を発信し、阿寒地域が世界自然遺産の候補地として検討されるよう、環境省やUNESCOなど関係者に向けて阿寒地域の価値のPRIに努める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	自然環境保全推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	市民環境部環境保全課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2次釧路市環境基本計画 第4次春採湖環境保全計画
目的と概要	自然環境の保全及び野生生物の適正な保護・管理を推進するため、国、北海道、市で連携し、市町村に求められる役割分担に沿った保護・管理施策を実施する。自然生態系の適正化と野生生物の多様性の確保に努める。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>①春採湖のウチダザリガニの捕獲 春採湖の多様な生態系を保全するため、特定外来生物に指定されているウチダザリガニの捕獲を実施する。</p> <p>春採湖岸全域での捕獲 5日間×2回(6月・9月) ※令和2年度までは、6月の捕獲は湖岸全域で5日間実施し、9月の捕獲は湖岸北東部でのみ10日間実施していたが、令和3年度より2回とも湖岸全域で5日間の捕獲に変更。</p> <p>②特定外来生物に関する普及啓発 特定外来生物であるウチダザリガニの防除の必要性について市民に理解を深めてもらうため、捕獲体験教室および釧路市生涯学習出前講座を実施する。</p>	<p>①春採湖のウチダザリガニの捕獲 ・令和4年度捕獲数 1,778個体(雄852、雌926) 捕獲日数 場所の変更</p>  <p>【写真1】罾(どう)の引き上げ 【表1】ウチダザリガニの捕獲数(H20-R4)</p> <p>②特定外来生物に関する普及啓発 ・捕獲体験教室 8月27日に親子を対象に実施予定だったが、悪天候により中止した。</p> <p>・釧路市生涯学習出前講座 講座「春採湖の特定外来生物について」として2団体32名に捕獲事業の経過や保全の歴史を解説するとともに、外来生物の侵入がもたらす自然環境への悪影響について講義を行った。</p>  <p>【写真2】出前講座① 【写真3】出前講座②</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		810	810	822
財源	一般財源 (千円)	405	405	822
	国道支出金 (千円)	405	405	
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	4,947	4,928	5,051
①	職員数 (人)	0.7	0.7	0.7
参考	市民一人あたりの費用 (円)		5.1	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 現段階で捕獲を終了した場合、ウチダザリガニの生息数が増加し、春採湖の生態系に悪影響を及ぼす恐れがある。 特定外来生物の侵入が自然環境に及ぼす影響について、市民等に十分に理解されていない。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 現段階で捕獲を終了した場合、ウチダザリガニの生息数が増加し、春採湖の生態系に悪影響を及ぼす恐れがある。 特定外来生物の侵入が自然環境に及ぼす影響については、幅広い世代への周知を継続的に実施していく必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ウチダザリガニ防除実施計画に基づき、水草の継続的な生育を保ち、春採湖及び周辺が多様な生態系を保全する。また、市民等に向けて外来生物についての知識の普及と事業成果の周知を行う。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ウチダザリガニ防除実施計画に基づき、水草の継続的な生育を保ち、春採湖及び周辺が多様な生態系を保全する。また、市民等に向けて外来生物についての知識の普及と事業成果の周知を行う。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	男女平等参画推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部市民協働推進課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 くしろ男女平等参画プラン
目的と概要	釧路市男女平等参画推進条例、くしろ男女平等参画プランに基づく男女平等参画推進に関する取組を実施し、男女共同参画社会を実現することを目的とする。具体的には、プランの中間見直しや策定、審議会における施策や取組等に対する協議、男女平等参画相談員による相談対応、啓発事業の実施等がある。また、自らの意思や能力によって起業や地域活動等にチャレンジしている女性や女性団体・グループ、そのようなチャレンジを支援する企業や団体・グループ、また、職場において効率的に就労し育児に関わる制度等の活用によりワーク・ライフ・バランスを実践している男女、更には子育てしながら積極的に地域活動に参加し社会貢献している男女、それらの男女を支援する企業、団体・グループについて、「くしろ男女いきいき参画」の実践者及びその支援団体として顕彰する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
財源	事業費 総額 (千円)	371	576	882
	一般財源 (千円)	126	151	882
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	245	425	
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		3.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	

注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>1 男女平等参画の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ①男女いきいき参画通信の発行 <ul style="list-style-type: none"> ・市有施設、教育機関等への配布 ②男女平等参画に関する講演会等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・市主催による講演会等の開催 ・関係課、関係団体等との共催による講演会等の開催 <p>2 釧路市男女平等参画審議会の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年5回開催予定 ・男女平等参画推進の取組等について協議 <p>3 男女平等参画相談員による相談対応等</p> <p>4 「くしろ男女平等参画プラン」の推進</p> <p>5 男女共同参画推進リーダー研修会参加</p> <p>6 釧路市男女いきいき参画宣言の普及</p> <p>7 くしろ男女いきいき参画表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> ①対象者 釧路市内に在住(在勤)、または、主に市内で活動している次のような個人、企業、団体・グループ <ul style="list-style-type: none"> ・起業や地域活動等にチャレンジしている女性や女性団体・グループ ・新たな分野に挑戦し、その領域を拓くなど、先駆的な活躍をしている個人、企業、団体・グループ ・子育てしやすい環境づくりに取り組んでいる個人、団体・グループ ・上記の活動に対して積極的に支援を行い、男女平等参画社会に寄与していると認められる企業、団体・グループ ②表彰件数 2件以内 <p>8 男女平等に関する市民意識・実態調査を実施</p>	<p>1 男女平等参画の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ①男女いきいき参画通信の発行 <ul style="list-style-type: none"> ◎ 2回発行 ◎ 市ホームページ掲載、市有施設、教育機関等への配布 ②男女平等参画に関する講演会等の開催 <ul style="list-style-type: none"> <主催> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 男女平等参画セミナー開催 「誰もが自分らしく幸せに輝ける職場づくり」 ・11月11日(金)13:30~16:00 市役所防災庁舎 ・参加人数 28人(民間企業・他官庁・市役所管理職) <共催> <ul style="list-style-type: none"> ◎ DV防止講演会(こども支援課共催) 「ジェンダーとデートDVを理解する」 ・1月23日(月)13:30~15:30 交流プラザさいわい 参加人数 58人 <p>2 釧路市男女平等参画審議会の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 審議会開催5回(6/6、8/1、8/22、1/25、3/22) ◎ プランの推進状況協議ほか <p>3 男女平等参画相談員による相談対応等(相談 2件)</p> <p>4 「くしろ男女平等参画プラン」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 男女平等参画推進庁内連絡会議を開催し実績報告 令和5年1月16日(月)9:30 <p>5 男女共同参画推進リーダー研修への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> オンライン配信期間 5月17日(火)~6月13日(月) オンラインによる研修に参加 <p>6 釧路市男女いきいき参画宣言の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 各公共施設への掲示(13か所) ◎ 男女いきいき参画表彰式での唱和 <p>7 くしろ男女いきいき参画表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 「Becotto」さん ◎ 「大平洋設備株式会社」さん <p>8 男女平等に関する市民意識・実態調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 調査期間 10月25日~11月15日 18歳以上の男女各1,000人にアンケート用紙を送付 回答数 624件

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・男女平等参画への関心を高めていくこと ・啓発事業への参加者増を図るための周知方法の検討と関係者への働きかけ ・いきいき参画表彰制度の市民への周知徹底 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・男女平等参画への関心を高めていくこと ・啓発事業への参加者増を図るための周知方法の検討と関係者への働きかけ ・いきいき参画表彰制度の市民への周知徹底
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・男女平等参画の意識醸成には、啓発事業の実施が有効であり、指定管理者や企業との連携を密にし、センター事業との協調を図るなど、事業展開を工夫し、市民の関心を高めていく。 ・いきいき参画表彰制度については、男女平等参画社会の実現にむけた施策の一つとしてとらえ、事業を継続していく。 ・「くしろ男女平等参画プラン」の中間見直し作業を行う。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・男女平等参画の意識醸成には、啓発事業の実施が有効であり、指定管理者や企業との連携を密にし、センター事業との協調を図るなど、事業展開を工夫し、市民の関心を高めていく。 ・いきいき参画表彰制度については、男女平等参画社会の実現にむけた施策の一つとしてとらえ、事業を継続する。 ・「くしろ男女平等参画プラン」(中間改訂)に基づき、施策を実施する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	地域女性活躍推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部市民協働推進課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	くしろ男女平等参画プラン
目的と概要	NPO法人に委託を行い、SNS、メール、通話、対面など様々な相談窓口を設置し、若年者から高齢者までの全ての女性が相談しやすい体制を作る。市が設置している各相談窓口や学校保健室等で生理用品を配布することにより事業を周知するとともに、コロナ禍等の要因で家庭が収入減になった女性、女子の生理の貧困を解消する。女性本人のニーズに基づき、訪問や同行、拠点で共に過ごすなどの支援を行い、女性が地域で安心して暮らし、活躍できるよう、後押しする。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
・NPO法人に委託して各種事業を実施 ① 女性を対象とした相談窓口を設置する。(SNS、メール、通話、対面など) ② 市が設置している各相談窓口や各学校の保健室等で、必要とする女性に対して生理用品を配布する。 ③ 支援が必要な女性の状態に合わせ、SNSによるやり取りや、訪問支援、同行支援、支援を行う拠点で共に過ごす、学ぶ、地域活動に取り組む、就労体験や実習、就労支援を行う。 ④ 定期的に女性が集まり、相談員も交えて、お互いに話し合う場を作る。(居場所づくり) ⑤ カウンセラー等による専門相談を実施する。	・NPO法人に委託して各種事業を実施した。(公募型プロポーザルにより選定) ① 女性を対象とした多様な相談窓口を設置した。(SNS、メール、通話、対面など) 相談者数 20人 ② 事業周知のため、市が設置する相談窓口や小中学校の保健室等で、女性に対して生理用品を配布した。 生理用品設置74か所 配布数 5,455人分 ③ SNSによるやり取りや、支援を行う拠点で作業をしながら共に過ごすなど、女性の状態に合わせた支援を実施した。 SNS等による相談 延べ98回 支援拠点における活動 延べ327人 ④ 女性が集まり、相談員も交えて、お互いに話し合う場を作る、居場所づくり事業を実施した。(会場:男女平等参画センター) 開催44回 参加264人 ⑤ カウンセラー等による専門相談を実施した。(会場:男女平等参画センター) 開催22回 参加25人

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)			12,029	
財源	一般財源 (千円)	0	0	0
	国庫支出金 (千円)		11,283	
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		746	
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	0	1,408	0
①	職員数 (人)	0.0	0.2	0.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		75.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/>		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/> <input type="text" value="終了"/>	
課題	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	課題	・本事業以外の女性活躍の推進に資する取り組みを継続していく。
今後(令和5年度以降)の方向性	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	実施なし

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	アイヌ政策推進交付金事業(阿寒湖アイヌ施策推進室実施事業)〈当初〉
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	阿寒町行政センター阿寒湖アイヌ施策推進室
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市アイヌ施策推進地域計画
目的と概要	「釧路市アイヌ施策推進地域計画」に基づき、市におけるアイヌ文化を取り巻く様々な課題の解決に向けて、地域間交流をはじめとするコミュニティ活動支援やアイヌ文化の伝承・普及啓発、さらにはアイヌ文化を活用した地域振興・観光振興施策等を総合的に推進するための各種事業を実施する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		111,948	93,396	428,958
財源	一般財源 (千円)	18,907	12,581	23,791
	国庫支出金 (千円)	89,541	74,715	255,167
	地方債 (千円)	3,500	6,100	150,000
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	21,201	21,120	0
①	職員数 (人)	3.0	3.0	
参考	市民一人あたりの費用 (円)		587.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		38.4	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○アイヌ政策推進交付金を活用した事業の実施 アイヌ関係者と連携のもと、国のアイヌ政策推進交付金を活用し、以下の事業を実施する。</p> <p>(1)阿寒湖原産のヒメマス祭り(カパチェブノミ)情報発信事業 阿寒湖が原産であるヒメマスとアイヌの関わりについて、ヒメマス祭り(カパチェブノミ)を通じて、アイヌ文化の情報発信を行う。 ◎イベント参加者数(目標):150人</p> <p>(2)阿寒湖アイヌ文化ブランド化に向けた知的財産保護事業 ・情報発信、調査、相談、デザインの保護や価値向上に向けた企画認証制度のPR、アイヌ文様デザインの作成、知的財産としての管理、アイヌ文化コンサルタントの認定・紹介等 ・地元企業商品に「アイヌ文様」パッケージデザインを取り入れる取組み。 ・路線バス等に「アイヌ文様」のラッピング等を導入する取組み。 ◎相談件数(目標):16件(年間)</p> <p>(3)阿寒湖アイヌコタン活性化事業 たんちょう釧路空港を活用し、阿寒湖アイヌコタンの工芸家等が持つ技術やアイヌ文化の情報等を道内外の人々に発信し阿寒湖アイヌコタンへの来訪を促すための取組み。 ◎阿寒湖アイヌコタンへの来訪者数:150人(1日あたり)</p> <p>(4)アイヌ工芸技術後継者育成事業 ・阿寒湖のアイヌ工芸技術を継承していくため、アイヌ工芸家の指導のもと、木彫作品等の制作を行う。 ・アイヌ工芸技術後継者育成の拠点となる「阿寒アイヌクラフトセンター」の整備実施。 ◎作品制作種類:3種類(年間)</p>	<p>○アイヌ政策推進交付金を活用した事業の実施 アイヌ関係者と連携のもと、国のアイヌ政策推進交付金を活用し、以下の事業を実施した。</p> <p>(1)阿寒湖原産のヒメマス祭り(カパチェブノミ)情報発信事業 ヒメマス祭りおよびアイヌ文化に関するパンフレットを作成(日本語10,000部、英語3,000部)し、情報発信を行った。 ◎イベント参加者数:210人</p>  <p>(2)阿寒湖アイヌ文化ブランド化に向けた知的財産保護事業 ・知的財産保護事業に係る新聞広告等PR活動 ・市内バス会社等の車両にラッピング広告を実施 ◎相談件数:45件(年間)</p>   <p>(3)阿寒湖アイヌコタン活性化事業 たんちょう釧路空港に阿寒湖アイヌコタンの情報発信ブース「シカント」を設置し、アイヌ文化の情報発信及び誘客を行った。 ◎阿寒湖アイヌコタンへの来訪者数:110人(1日あたり)</p>  <p>(4)アイヌ工芸技術後継者育成事業 ・木彫作品の制作・ムックリ・アットゥシ制作技術継承の実施 ・阿寒アイヌクラフトセンター外壁工事等の実施 ◎作品制作種類:3種類(年間)</p> 

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・本事業はアイヌ関係者の要望をもとにアイヌ関係者との連携のうえ実施しているものである。国のアイヌ政策推進交付金を財源としているが、より効果的な事業の実施のためには財源の確保とともに交付金の柔軟な運用について国に要望していく必要がある。	課題	・本事業はアイヌ関係者の要望をもとにアイヌ関係者との連携のうえ実施しているものである。国のアイヌ政策推進交付金を財源としているが、より効果的な事業の実施のためには財源の確保とともに交付金の柔軟な運用について国に要望していく必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	・効果的な事業実施のため、今後もアイヌ関係者との連携により事業を推進する。また、アイヌ施策推進地域計画の計画期間が令和5年度までの予定であることから、次期計画策定の要望等を含め財源の確保に努める。	今後(令和6年度以降)の方向性	・令和元年度に策定した5か年計画「アイヌ施策推進地域計画」の推進により、当市のアイヌ施策については大きく前進した。しかしながら、アイヌ文化のいない手の育成やアイヌの人々の経済基盤の強化等については更なる取組みが必要であり、令和6年度以降における次期アイヌ施策推進地域計画の策定に向けて取組みを進めていく。




令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	アイヌ政策推進交付金事業(保健福祉課実施事業)＜当初＞
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	阿寒町行政センター保健福祉課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市アイヌ施策推進地域計画
目的と概要	アイヌ政策推進交付金を活用して、地域の交流拠点として阿寒町緑町生活館を整備し、アイヌ住民と地域住民の交流やアイヌ文化振興などへの施設の利活用を図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		10,862	100	108
財源	一般財源 (千円)	2,174	21	22
	国道支出金 (千円)	8,688	79	86
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	10,601	8,448	8,658
①	職員数 (人)	1.5	1.2	1.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>令和4年度目標 阿寒町緑町生活館の延べ利用人数目標値1,600人 ・幼稚園児や小学生、子育て世代と高齢者を対象として、アイヌ文様やアイヌ舞踊及びアイヌ料理等の伝統的なアイヌ文化に触れる講座を開催し、講座を通じてアイヌの方々と地域住民の交流を広い世代にわたって促す。</p> <p>1 アイヌ文化三世代交流事業 アイヌ文化の有識者を講師に招き、地域の子どもから高齢者までの三世代が、アイヌの文化や歴史を学ぶとともに、一緒に参加し体験できる講座を実施。</p> <p>① アイヌ文様とは 「アイヌ文様の切り絵づくり」</p> <p>② アイヌ文様と着物 「アイヌの着物体験」</p> <p>③ アイヌ舞踊 「アイヌの遊び(唄と踊り)体験」</p>	<p>◎令和4年度実績 阿寒町緑町生活館利用者数: 令和3年度 101件、1159人 令和4年度 163件、1554人</p> <p>・施設が整備され、地域の子どもや高齢者が安心して安全に利用できるようになった。 ・交流拠点施設として、地域住民やアイヌの方々の交流の場としての活用促進。 ・伝統的なアイヌ文化に触れられる機会が増えた。</p> <p>1 アイヌ文化三世代交流事業 アイヌ文化の有識者を講師に招き、地域の幼稚園児、子育て世代と高齢者を対象にアイヌの文化や歴史を学ぶとともに、一緒に参加し体験できる講座を開催した。</p> <p>① 第1回目体験講座 アイヌ文様とは 「アイヌ文様の切り絵づくり」 日時: 令和4年12月14日(水) 講師: 1名 参加者: 16名</p>  <p>② 第2回目体験講座 アイヌ文様と着物 「アイヌの着物体験」 日時: 令和5年1月30日(月) 講師: 1名 参加者: 20名</p>  <p>③ 第3回目体験講座 アイヌ舞踊 「アイヌの遊び(狐の踊り、ネズミの踊り)体験」 「アイヌの音楽(ムックリ)体験」 日時: 令和5年2月27日(月) 講師: 1名 参加者: 22名</p> 

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 縮小		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業を実施することができなかった。今後も、感染症の状況に合わせた対策を取り事業を実施する。	課題	・地域の交流拠点施設として、利用者の安全に配慮した管理運営が必要である。
今後(令和5年度以降)の方向性	・アイヌ住民と地域住民が、高齢者から幼児まで三世代に渡り幅広く交流するため、安全に配慮した事業の実施方法を検討し、引き続き事業継続する。	今後(令和6年度以降)の方向性	・施設は地域の各団体の事業に多く活用されており、利用者も増加している。今後も各団体が安心して事業を実施できるように、安全に配慮し施設の管理運営に努める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	アイヌ政策推進交付金事業(社会援護課実施事業)＜当初＞
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	福祉部社会援護課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市アイヌ施策推進地域計画
目的と概要	本事業はアイヌの人々の生活福祉の向上と、地域住民とアイヌの人々の交流を通じ相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資することを目的として、釧路地区5館の生活館のうち、基準館に位置付けられ、アイヌ生活相談員が配置されている春採生活館について、アイヌの人々と地域住民との交流の場としての機能強化を図るため、アイヌ地域交流拠点化に向けた整備(改築)を実施する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>◎春採生活館アイヌ地域交流拠点整備事業</p> <p>春採生活館の改築工事(建築主体、電気設備、管設備、外構)及び文化伝承室の炉回り製作に係る委託業務を実施する。併せて改築に伴うイタオマチブの移送、アイヌの儀式等を実施する。</p> <p>①事業内容 【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築主体工事 ・電気設備工事 ・管設備工事 ・外構工事(建築付帯) ・外構工事(石碑移動・仮設道路) ・イタオマチブ移送 ・炉回り製作委託 ・アイヌ式の地鎮祭委託 ・完成式(チセノミ)委託 	<p>◎春採生活館アイヌ地域交流拠点整備事業</p> <p>春採生活館の改築工事(建築主体、電気設備、管設備、外構)及び文化伝承室の炉回り製作に係る委託業務を実施した。併せて改築に伴うイタオマチブの移送、アイヌの儀式等を実施した。</p> <p>①事業実績 【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築主体工事【写真1】 ・電気設備工事 ・管設備工事 ・外構工事(建築付帯) ・外構工事(石碑移動・仮設道路) ・イタオマチブ移送 ・炉回り製作委託 ・アイヌ式の地鎮祭委託 ・完成式(チセノミ)委託【写真2】 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【写真1】新・春採生活館の外観</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【写真2】完成式(チセノミ)委託</p> </div> </div> <p>・儀式やアイヌ古式舞踊等のアイヌ文化を次世代へ伝承するための文化伝承室や、アイヌの人々と地域住民が交流するための地域交流室等、コミュニティ活動支援に必要な機能を整備し、アイヌ地域交流拠点として活用できる施設として、春採生活館の改築工事を実施した。</p> <p>・施設の改築に伴い、アイヌ式の地鎮祭、炉廻りの設置を行い、令和5年3月28日に、来賓や釧路アイヌ協会の関係者ら約50人が参加し、建物の新築を祝うアイヌ文化の儀式(アシリチセノミ)を実施した。</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	39,367	174,847	72,691
財源	一般財源 (千円)	9,814	2,370	4,438
	国道支出金 (千円)	24,553	139,877	58,153
	地方債 (千円)	5,000	32,600	10,100
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	21,201	21,120	21,645
①	職員数 (人)	3.0	3.0	3.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		1,099.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		205.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・アイヌ施策推進地域計画に基づき、予定通り進捗している。	課題	・アイヌ施策推進地域計画に基づき、予定通り進捗している。
今後(令和5年度以降)の方向性	・令和5年度中の春採生活館供用に向け、建築課等の関係各課並びに釧路アイヌ協会と調整しながら事業を継続する。	今後(令和6年度以降)の方向性	・本事業は令和5年度末で終了。





令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	アイヌ政策推進交付金事業(阿寒観光振興課実施事業)＜当初＞
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	産業振興部阿寒観光振興課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市アイヌ施策推進地域計画 第2期釧路市観光振興ビジョン
目的と概要	「釧路市アイヌ施策推進地域計画」に基づき、市におけるアイヌ文化を取り巻く様々な課題の解決に向けて、地域間交流をはじめとするコミュニティ活動支援やアイヌ文化の伝承・普及啓発、さらにはアイヌ文化を活用した地域振興・観光振興策等を総合的に推進するための各種事業を実施する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	138,925	127,065	169,328
財源	一般財源 (千円)	27,788	25,414	33,948
	国支支出金 (千円)	111,137	101,651	135,380
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		799.1	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>①アイヌ文化ガイド事業 アイヌ民族自らがガイドとなるアイヌ文化ガイド事業を構築し、阿寒湖のアイヌ文化を観光客に伝えるとともに、先住民の文化やアドベンチャーツーリズムに関心の高い個人旅行者をターゲットとしたガイド事業のプロモーションを実施する。</p> <p>②阿寒湖アイヌアーティストのブランド化事業 WEBや動画作成を通じ、阿寒湖におけるアイヌ民族の仕事を伝承、実践するアーティストのプロモーションを行うほか、新たな商品開発・販売ルートの開拓を行い、アイヌ文化による阿寒湖温泉の観光振興を図る。</p> <p>③アイヌ文化関連観光プロモーション事業 阿寒湖アイヌシアター「イコロ」における新たな演目、デジタルコンテンツの制作をはじめ、既存の演目の磨き上げや様々なアイヌコンテンツの多言語化を図るなどし、WEBや動画、雑誌、TV等の媒体を活用して国内外に向けて発信するプロモーションを行う。</p> <p>④アイヌ文化フェスティバル開催事業 自然と共生してきたアイヌ文化の魅力を国内外に発信するために、アイヌ音楽やアイヌ古式舞踊、アイヌの食や文化体験を実施する。</p>	<p>①アイヌ文化ガイド事業 ◎ホームページやパンフレットの更新、各種メディア情報発信 ◎新たなガイドツアーを1つ作成【写真1】 ◎作成したガイドツアーに係る予約対応等のオペレーション業務の専任人材を1名配置</p> <p>②阿寒湖アイヌアーティストのブランド化事業 ◎新規アーティスト2名の作品の動画撮影や、HPの更新等による発信 ◎アーティスト4名と有田焼の窯元によるアイヌ文様皿を開発【写真2】 ◎アーティスト4名と外部クリエイター協働新商品4点の開発 ◎上記新商品の情報発信 ◎営業人材を2名配置し、阿寒湖アイヌ工芸品の営業活動を実施。 ◎アイヌアートギャラリーを2か所運営</p> <p>③アイヌ文化関連観光プロモーション事業 ◎四季の動画の春編を制作公開 ◎インフルエンサー3名を招聘し、SNSや雑誌への体験記掲載による情報発信を実施 ◎イコロ新演目制作に向けた脚本制作や、専門家を招いたワークショップを実施【写真3】</p> <p>④アイヌ文化フェスティバル開催事業 ◎「阿寒ユーカラ ウタサ祭り」を開催(有観客及び無料オンラインライブ配信)総視聴者数24,295人【写真4】</p>
 	 
<p>【写真1】新たなガイドツアーを作成【写真2】開発したアイヌ文様有田焼の皿 【写真3】ワークショップの様子 【写真4】ウタサ祭りの様子</p>	

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等





令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 阿寒湖でのアイヌ文化を活用した地域振興・観光振興の基盤づくりや、アイヌ文様有田焼の皿の開発などの取り組みを進めることができた。国内外に向けた、阿寒湖のアイヌ文化の認知度や関心の向上を進める取り組みが必要とされている。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 国内外における阿寒湖のアイヌ文化の認知度や関心が充分といえず、更なる取り組みが必要とされている。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 阿寒湖のアイヌ文化の認知度や関心の向上に向け、取り組む事業の質の向上に加え、効果的な情報発信を実施していく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 阿寒湖のアイヌ文化の認知度や関心の向上に向け、高付加価値化に加え、効果的な情報発信等を行い、阿寒湖温泉地区への誘客を目指していく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	アイヌ政策推進交付金事業(生涯学習課実施事業)〈当初〉
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	生涯学習部生涯学習課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	釧路市アイヌ施策推進地域計画
	第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」の施行に伴い、アイヌ施策推進地域計画を策定し、アイヌ政策推進交付金を活用して地域におけるアイヌ文化の着実な伝承・継承活動や様々な形のアイヌ文化の発信等を通じて、アイヌの人々が民族としての誇りをもって生活でき、その誇りが尊重される地域社会の実現を目指すもの。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業</p> <p>①空間活用等事業 一般の方々やアイヌの人々が体験し学ぶ空間を整備・活用 《事業展開地》 ・阿寒湖温泉地区～環境省所管地・ニタイトーの森</p> <p>②自然素材育成事業 アイヌの人々が伝統的文化活動を行う際に必要となる自然素材の栽培地の整備 《事業展開地》 ・春採湖周辺地区～旧柏木小学校隣接地</p> <p>③体験交流事業 釧路管内の児童・生徒及び住民を対象にした文化体験学習を通じて、アイヌ民族の伝統や文化に対する理解を促進する。</p> <p>④アイヌ文化体験講座の開催</p> <p>⑤情報収集</p>	<p>○伝統的なアイヌ文化・生活の場の再生支援事業</p> <p>①空間活用等事業(古老から学ぶ阿寒湖のアイヌ文化の開催、ガマの採取、鮭の採捕、環境省所管地・ニタイトーの森の枯損木処理、草刈りによる園路整備の実施等)</p> <p>②自然素材育成事業(有用植物の種等の播種・育成管理)</p> <p>③体験交流事業(アイヌ刺繍体験講座、アイヌ伝統料理体験交流会等の開催)</p> <p>④アイヌ文化体験講座(アイヌ文様ラッピングバスで行くアイヌ文化「見る・知る・体験」バスツアーの開催)</p> <p>⑤イオル協議会書面開催(令和5年2月17日)・Facebook16回更新</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">ガマの採取 アイヌ伝統料理体験交流会</p>
<p>○アイヌ音楽文化育成事業</p> <p>①トンコリ・ムックリなどによる伝統音楽の伝承</p> <p>②発表会の開催</p>	<p>○アイヌ音楽文化育成事業</p> <p>①トンコリ、ムックリなどによる伝統音楽の伝承(アイヌ音楽教室の開催)</p> <p>②発表会の開催</p> <div style="text-align: center;">  <p>発表会</p> </div>
<p>○高齢者コミュニティ活性化による文化知見の伝承・共有化事業</p> <p>①アイヌ民族高齢者による伝承会の開催</p> <p>②アイヌ民族高齢者の持つ文化知見の聞き取り調査</p> <p>③山本多助氏資料翻刻作業</p>	<p>○高齢者コミュニティ活性化による文化知見の伝承・共有化事業</p> <p>①アイヌ民族高齢者による伝承会の開催(ゴザ編み、幕別蝦夷文化考古館での伝承会開催)</p> <p>②アイヌ民族高齢者の文化知見の聞き取り調査</p> <p>③山本多助氏資料翻刻作業</p> <div style="text-align: center;">  <p>ゴザ編み伝承会</p> </div>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
財源	事業費 総額 (千円)	28,384	24,933	16,814
	一般財源 (千円)	5,677	4,988	3,363
	国道支出金 (千円)	22,707	19,945	13,451
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	3,534	3,520	3,608
①	職員数 (人)	0.5	0.5	0.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		156.8	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	アイヌ文化等の知識を持つアイヌの人たちの高齢化が進んでいることから、早急な文化の伝承と継承者の育成、アイヌ文化の保存・継承・普及啓発が必要となっている。	課題	アイヌ文化等の知識を持つアイヌの人たちの高齢化が進んでいることから、早急な文化の伝承と継承者の育成、アイヌ文化の保存・継承・普及啓発が必要となっている。
今後(令和5年度以降)の方向性	アイヌ施策推進地域計画に基づき、アイヌ文化の保存、収集、普及啓発のため今後もアイヌ関係者や国と協議をし、事業をすすめていく。	今後(令和6年度以降)の方向性	アイヌ施策推進地域計画に基づき、今後もアイヌ関係者や国と協議をし、アイヌ文化の保存、収集、普及啓発を図っていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	アイヌ政策推進交付金事業(博物館実施事業)＜当初＞
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	生涯学習部博物館
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市アイヌ施策推進地域計画
目的と概要	口承文芸や踊り、儀礼、民具など、時代とともに移り変わる有形無形のアイヌ文化を素材とした資料映像を委託制作する。また、アイヌ文化紹介事業を通じて参加者のアイヌ文化への理解や地域社会のアイヌの方々とのきずなを深める。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>①アイヌ文化映像コンテンツ制作業務委託</p> <p>「釧路アイヌのまつり」の撮影と制作</p> <p>②アイヌ文化紹介事業(体験講座)</p> <p>アイヌ木彫体験講座の実施</p> <p>③アイヌ文化紹介事業(企画展)</p> <p>古式舞踊をテーマとした企画展とその関連事業の開催</p>	<p>①アイヌ文化映像コンテンツ制作業務委託</p> <p>アイヌ文化展示コーナーの映像装置にて上映するコンテンツ1作品を委託制作した。釧路管内のアイヌ関係団体との検討会(令和2年度実施)での議論を踏まえ、釧路市春採にて例年開催されている伝統的な方法に則った3つの儀式をテーマにした作品「釧路アイヌのまつり」の撮影および編集を委託業務にておこなった。</p> <p>②アイヌ文化紹介事業(体験講座)</p> <p>アイヌ木彫体験講座「木刀模様彫刻」を実施した。アイヌ文様や木彫品の種類についての資料配布・レクチャーをおこなったあと、木彫りの体験をしてもらった。参加者の満足度や今後の開催希望についてのアンケート結果からもかなり満足度が高かったことがうかがえた。</p> <p>◎日時:2022(令和4)年11月5日(土)10時～15時 会場:博物館講堂 参加者数:10名 講師:藤戸 康平 氏(木彫作家・プロダクトデザイナー) 協力:釧路工業技術センター・アカム木工株式会社</p> <p>③アイヌ文化紹介事業(企画展および関連事業)</p> <p>釧路地域のアイヌ古式舞踊の歴史や演目について紹介する企画展「リムセヤン・ウポボヤン～受け継がれる道東アイヌの歌と踊り」を開催した。関連事業として、阿寒アイヌ民族文化保存会による古式舞踊公演および映像上映会と古式舞踊のお話を開催した。</p> <p>＜企画展＞ ◎日時:2022年10月22日(土)～2023年1月22日(日) 会場:マンモスホール</p> <p>＜古式舞踊公演＞ ◎日時:2022年12月10日(土)14時～15時 会場:講堂 参加者数:33名 出演:阿寒アイヌ民族文化保存会</p> <p>＜映像上映と古式舞踊のお話会＞ ◎日時:2023年1月14日(土)13時30分～14時30分 会場:博物館講堂 参加者数:45名 話:城石梨奈(当館学芸員)</p>
 <p>木彫体験講座</p>	 <p>企画展の様子</p>
 <p>アイヌ古式舞踊公演</p>	

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		1,810	1,194	2,219
財源	一般財源 (千円)	363	239	444
	国道支出金 (千円)	1,447	955	1,775
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	3,534	3,520	3,608
①	職員数 (人)	0.5	0.5	0.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		7.5	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 制作した映像コンテンツをより多くの方々に見ていただける方策の検討が必要である。 体験講座には、より多くの参加希望者を受け入れる工夫が必要である。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 行事に参加して興味を持っていただいた方々に、引き続き事業に参加するリピーターとなってもらうための方策の検討が必要である。 アイヌ交付金での助成がなくなっても継続的に事業を実施できるような仕組み作りの検討が必要である。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 映像コンテンツを上映する装置の仕様変更に取り組む。 体験講座について、体験講座参加者のアンケート結果を参考に、内容の多様化と地元人材の活用により継続して実施する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を活用した常設展示強化に継続して取り組む。 貴重な実物資料の保存環境の整備に着手する。 体験講座について、体験講座参加者のアンケート結果を参考に、内容の多様化と地元人材の活用により継続して実施する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	アイヌ政策推進交付金事業(動物園実施事業)＜当初＞
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	生涯学習部動物園
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市アイヌ施策推進地域計画
目的と概要	動物園が、阿寒湖や釧路市内のアイヌ文化関連施設等へ旅行者を誘う拠点となるとともに、来場者の動物とアイヌ文化との深い関係性の理解を深めるために、キムンカムイ(ヒグマ)、サルルンカムイ(タンチョウ)、コタンコロカムイ(シマフクロウ)などの北海道に生息する動物たちとアイヌの暮らしとの関わりを理解できる観覧施設を整備する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		13,309	20,043	0
財源	一般財源 (千円)	2,662	4,009	0
	国道支出金 (千円)	10,647	16,034	
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	0
①	職員数 (人)	1.0	1.0	
参考	市民一人あたりの費用 (円)		126.0	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○準備協議会の開催 令和2年度に設置した阿寒・釧路アイヌ協会や専門家等から構成される準備協議会。令和4年度は事業実施にあたっての助言を得る目的等で開催。</p> <p>○園内ガイド・体験事業の実施 効果的なソフト事業構築に向けた取り組みとして、園内ガイドと木彫り体験を試行的に実施する。</p>	<p>○準備協議会の開催結果 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催形式を一部オンライン会議とし、以下のとおり協議会を3回開催した。 ◎第1回 令和4年10月5日 ◎第2回 令和5年1月18日 ◎第3回 令和5年2月8日</p> <p>○園内ガイド・体験事業の実施結果 「動植物とアイヌ文化にまつわる園内ガイド」「木彫りコースター作り」両方を体験できるイベントを7月から8月にかけて計3回実施し、28名が参加した。</p> <div style="text-align: center;">  <p>＜園内ガイド・木彫り体験事業の様子＞</p> </div> <p>○レストハウスアスベスト調査業務委託 中央広場再整備実施設計業務の事前調査として、今後改修予定のレストハウスのアスベスト含有建材使用の有無について調査を行う。</p> <p>○中央広場再整備実施設計業務委託 令和2年度に策定した「北海道ゾーン再整備基本構想・基本計画」より条件や調査結果を把握・検討し、実施設計業務を行う。</p> <p>○ヒグマ舎改修実施設計業務委託 令和2年度に策定した「北海道ゾーン再整備基本構想・基本計画」や令和3年度に作成した基本設計を基に実施設計業務を行う。</p>
	<p>○レストハウスアスベスト調査業務委託成果 令和4年5月に調査し、6月に報告書が提出された。</p> <p>○中央広場再整備実施設計業務委託成果 当初計画どおり実施設計を行い、令和5年3月に報告書及び成果品が提出された。</p> <p>○ヒグマ舎改修実施設計業務委託成果 当初計画どおり実施設計を行い、令和5年3月に報告書及び成果品が提出された。</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 来園者が、動物とアイヌ文化との深い関係性の理解を深めることができる学びの場としての機能を備えた環境整備が必要である。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に試行的に実施した園内ガイド・体験事業等の更なる充実を図るため、動物とアイヌ文化との深い関係性の理解を深めることができる学びの場としての機能を備えた環境整備が必要である。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 釧路市アイヌ施策推進地域計画に基づき、令和5年度にヒグマ舎改修を行い、令和6年度にヒグマを2頭導入予定。併せて、正門周辺と中央広場について、アイヌ文化を取り入れた環境を整備する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は国の判断により事業見送りとなったことから、令和6年度以降にヒグマ舎を改修し、その後ヒグマを2頭導入予定。併せて、正門周辺及び中央広場をアイヌ文化を取り入れた環境を整備する。



令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	移住定住・長期滞在促進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部市民協働推進課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	長期滞在のビジネス化を進める民間組織「くしろ長期滞在ビジネス研究会」と連携しながら受入環境整備やPR等を行い、長期滞在者等の増加による関係人口拡大、また、若年層が釧路を訪れ働きながら生活する機会の提供により、二地域居住や本格的な移住につなげていくことで、地域経済の活性化を図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		2,128	4,204	4,403
財源	一般財源 (千円)	2,128	0	4,403
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		4,204	
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	14,134	14,080	14,430
①	職員数 (人)	2.0	2.0	2.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		26.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○移住定住・長期滞在事業のビジネス化を図る民間の取り組み</p> <p>(1)長期滞在者等の相談対応 (2)補助金支出 ◎予算額:1,970千円 (3)ニーズ把握と検証</p> <p>○移住・長期滞在環境の整備</p> <p>(1)長期滞在施設支援事業 ◎予算額:1,600千円 (2)滞在中のサポート (3)コワーキングスペース等利用促進モデル事業 ◎予算額:150千円 ※くしろ長期滞在ビジネス研究会における事業 (4)くしろステイメンバースカード事業 ◎予算額:27千円</p> <p>○長期滞在関係団体との連携</p> <p>(1)長期滞在者向けイベント実施 ◎地域学習講座開催予定回数:3回</p> <p>○移住定住・長期滞在に係る情報発信</p> <p>(1)インターネット検索連動型広告(Google広告)の活用 ◎予算額:365千円 ※くしろ長期滞在ビジネス研究会における事業 (2)大都市圏等へのPRイベント出展</p> <p>○若年層の移住促進事業</p> <p>(1)くしろお試しワーキングホリデー事業の実施 ◎予算額:592千円 ※募集人数:3名</p>	<p>○移住定住・長期滞在事業のビジネス化を図る民間の取り組み</p> <p>(1)長期滞在者等の相談対応 ◎相談件数:長期滞在 158件 移住 21件 (2)補助金支出 ◎決算額:1,970千円 (3)ニーズ把握と検証 ◎長期滞在者アンケート回収件数:95件 ◎住民異動届による移住者把握(移住組数):93組(転入) 87組(転出)</p> <p>○移住・長期滞在環境の整備</p> <p>(1)長期滞在施設支援事業 ◎申請件数:4件4戸、補助金交付額:1600千円 (2)滞在中のサポート ◎ブログ、メルマガ、紙媒体による発信 (3)コワーキングスペース等利用促進モデル事業 ◎申請件数:22件、補助金交付額:92千円 ※くしろ長期滞在ビジネス研究会における事業 (4)くしろステイメンバースカード事業 ◎くしろステイメンバースカード発行枚数:564枚</p> <p>○長期滞在関係団体との連携</p> <p>(1)長期滞在者向けイベント実施 ◎地域学習講座(3回開催)参加人数:延べ24名 ◎「港まつり市民広場」市民踊り参加人数:5名 ◎長期滞在者交流会参加人数:12名</p> <p>○移住定住・長期滞在に係る情報発信</p> <p>(1)インターネット検索連動型広告(Google広告)の活用 ◎くしろ長期滞在ビジネス研究会HPの閲覧数:5,078回 ※くしろ長期滞在ビジネス研究会における事業 (2)大都市圏等へのPRイベント出展 ◎北海道移住・交流フェア相談人数:50人(東京会場) 24人(大阪会場) ◎JOIN移住交流&地域おこしフェア2023:49人</p> <p>○若年層の移住促進事業</p> <p>(1)くしろお試しワーキングホリデー事業の実施 ◎参加人数:3名 ※申込者数:4名</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【就業中の様子】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【地域紹介イベント】</p> </div> </div> <p>◎長期滞在実績 1,587組 2,267人、延べ滞在日数 23,726日</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。		該当する自己評価結果をリストから選択してください。	
	評価		継続維持
課題	<ul style="list-style-type: none"> 滞在施設の安定供給、滞在中の情報提供 夏季以外の長期滞在者や就労世代の誘致 移住に繋がる施策の検討移住者向け情報発信 コロナ禍による長期滞在者の減少 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 滞在施設の安定供給、滞在中の情報提供 夏季以外の長期滞在者や就労世代の誘致 移住に繋がる施策の検討移住者向け情報発信
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 就労世代滞在者の増 移住に繋がる施策の構築 四季を通じたPRの強化と旅行商品の拡充 物件供給増加に向けた取り組みの継続 効果的な情報発信の手法検討 ウィズ/アフターコロナ期における滞在需要回復に向けた取り組みの検討 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 就労世代滞在者の増 商業労政課と連携した移住に繋がる施策の構築 四季を通じたPRの強化と旅行商品の拡充 物件供給増加に向けた取り組みの継続 効果的な情報発信の手法検討 アフターコロナ期における滞在需要回復に向けた取り組み


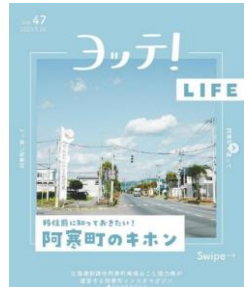

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	地域づくり推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	阿寒町行政センター地域振興課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	・地域おこし協力隊制度を活用して、外からの目線で阿寒地域の魅力を発掘するとともに受入企業や居住環境などの情報を収集・発信する。 ・外から阿寒地域へ誘引するコーディネーターとしての役割を果たす人材を配置するとともに、隊員を地域活性化のキーパーソンとして育成し、阿寒地域の活性化を図ることを目的とする。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
財源	事業費 総額 (千円)	7,097	7,998	18,599
	一般財源 (千円)	7,082	7,974	18,527
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	15	24	72
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	3,534	3,520	3,608
①	職員数 (人)	0.5	0.5	0.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		50.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果												
<p>○地域おこし協力隊の活動内容</p> <p>(1)阿寒地域への移住を誘引する活動</p> <p>①阿寒地域の新たな魅力発掘と情報発信 ②空き家や空き店舗等の情報整理 ③事業所の求人情報等の情報整理 ④写真や動画等を活用した情報発信 ⑤移住や起業希望者の相談対応 ⑥移住を誘引する企画の立案 等</p> <p>(2)自身の定住に繋がる活動</p> <p>①地域住民との交流活動によるネットワークづくり ②スキルアップのための各種研修会等への参加 等</p>	<p>○地域おこし協力隊の活動内容</p> <p>(1)Webや地域おこし協力隊通信による情報発信活動</p> <p>・Facebook、Instagram、Twitter等の活用</p> <p>◎令和4年度地域おこし協力隊通信:年10回発行</p> <p>◎様々な情報発信ツールを活用し、内容や相手方によって媒体等と使い分け、効率的な情報発信に繋げている。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <caption>各SNSフォローワース数</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度末</th> <th>R4年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Facebook</td> <td>404件</td> <td>568件</td> </tr> <tr> <td>Instagram</td> <td>1,054件</td> <td>1,364件</td> </tr> <tr> <td>Twitter</td> <td>956件</td> <td>1,327件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)移住体験ツアーの実施</p> <p>・概要:阿寒町(地方)の暮らしを体験するツアーの実施。 ・実施日:9月22日~25日 ・参加者:道外出身者3名(大阪2名、千葉1名)</p> <p>◎ツアー参加者の1名が阿寒町へ移住。他の参加者もプライベートで阿寒地域を訪れる等、新たな交流人口や移住者が生まれた。</p> <p>(3)阿寒町商工会青年部活動</p> <p>青年部への加入、まちづくり活動への参画 (内容:まちなかライトアップ事業、青年部員相互交流など)</p> <p>(4)各学校、各種団体等との連携、交流 (主な相手方:阿寒中学校、阿寒高校、釧路公立大学、釧路短期大学、附属釧路義務教育学校)</p> <p>(5)先進地視察の実施</p> <p>・視察先:弟子屈町(弟子屈JIMBA) ・視察内容:①空き家利活用対策の取り組み ②地域おこし協力隊任期後を見据えた取り組み</p> <p>◎他地域の視察や地域団体、住民と活動・意見交換を行うことで、自身の活動に対するモチベーションの向上やネットワークづくりのほか、定住に向けた考えの醸成に繋がる。</p>		R3年度末	R4年度末	Facebook	404件	568件	Instagram	1,054件	1,364件	Twitter	956件	1,327件
	R3年度末	R4年度末											
Facebook	404件	568件											
Instagram	1,054件	1,364件											
Twitter	956件	1,327件											
 <p>地域おこし協力隊通信</p>	 <p>Webによる情報発信 (Instagram)</p>												
 <p>移住体験ツアーの様子</p>													

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 拡充	
課題	・隊員が発信した情報を得て、実際に移住等を検討したい方がいても、移住希望者が必要とする居住環境に関する情報が整理出来ていない等、相談窓口が整っていない。	課題	・情報発信や移住体験ツアーを通じて、新たな交流人口・移住者が増えている一方、空き家等の居住情報を提供する仕組みができておらず、移住希望者が必要とする情報を提供出来ていない等、相談窓口が整っていない。
今後(令和5年度以降)の方向性	・地域おこし協力隊員の定着 ・交流人口増に向けた情報発信活動を引き続き行う一方、移住希望者に対する受入れ環境(相談窓口等)の整備を推し進める。	今後(令和6年度以降)の方向性	・交流人口増に向けた情報発信活動を引き続き行い、空き家の利活用対策を進め、移住希望者に対して、具体的な居住環境の内容を盛り込んだ移住相談の対応を行う。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	地域づくり推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	音別町行政センター地域振興課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	特産品開発及び改良を検討する地元事業者に支援を行い、特産品の魅力や認知度、商品付加価値向上を図り、地域への観光客入り込み数を増やすとともに、住民が音別の魅力を再認識することで地域の活性化につなげる。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	376	300	12,300
財源	一般財源 (千円)	376	300	12,300
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	1,413	1,408	1,443
①	職員数 (人)	0.2	0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		1.9	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○音別地域特産品開発支援事業補助金 特産品事業者等が行う音別地域の特産品の魅力・認知度及び商品の付加価値向上を図る取組に対し補助金を交付することにより、より活発な商品開発や新たな事業展開を促し、地域の活性化を図る。</p> <p>(1)補助対象者 音別地域に事業所又は事業所等を有する個人、法人又は団体</p> <p>(2)補助対象事業等 特産品を新たに開発し商品化する事業</p> <p>(3)補助金額 補助対象経費の2分の1以内(上限10万円)</p>	<p>○音別地域特産品開発支援事業補助金 音別地域の特産品の魅力・認知度向上を図る下記事業に対し補助金を交付した。</p> <p>(1)音別産フキの水煮販売事業 音別産フキの水煮販売促進にあたり、地域名やロゴマークを標記したパッケージを作成。</p> <p>(2)蕎と昆布の佃煮の製品化事業 音別産の蕎を使用した「蕎と昆布の佃煮」を開発し、製造・販売を行う。</p> <p>(3)菊芋の長期保存研究事業 菊芋は秋に収穫し、翌年の6月には発芽するため廃棄処分となるが、7月以降の販売や廃棄物の縮小に向け、生での長期保存の研究を行う。</p> <p>(4)地域特産物加工品付加価値化推進事業 地域活性化に向け、高付加価値に結び付く、富貴紙を活用した商品開発を行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【フキの水煮】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【蕎と昆布の佃煮】</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>【富貴紙のし袋】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【富貴紙のし袋】</p>  </div> </div>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等



令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table style="display: inline-table; border: 1px solid black;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table style="display: inline-table; border: 1px solid black;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な特産品の開発・改良や人材育成 特産品の高付加価値化・ブランド化・PR力 観光ガイド等の人材確保 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域特産品の更なる魅力、認知度の向上を図るため、令和3～4年度に開発した製品の販促支援に加え、地元事業者による新商品の開発を引き続き支援していく必要がある。 				
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 特産品を生かした新たな商品の開発や販促へ向けた支援を行う。 音別地域交流拠点施設のほか、地域外においても音別地域の特産品が手に取れるよう、生産者と連携し販路拡大へ向けた検討を進めていく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 音別地域交流拠点施設のほか、地域外においても音別地域の特産品が手に取れるよう、生産者と連携し販路拡大へ向けた検討を進めていく。 音別地域の目玉商品となるような特産物開発の可能性を見出す。 				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	音別地域交流拠点施設管理運営事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	音別町行政センター地域振興課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	音別地域住民の生活・文化、特産品の開発などを通じた地域産業の振興、地域の情報発信の充実による交流人口の拡大を図るための交流拠点施設の完成に伴い、落成式(オープニングセレモニー)を開催し、広く地域内外に周知し地域の賑わい創出につなげる。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○拠点施設の落成式(オープニングセレモニー)までの経過 音別地域の人口減少や少子高齢化、担い手不足といった地域が抱える課題を解決するうえで必要な機能を有する地域の拠点施設として、令和3年度に建設し令和4年3月17日に竣工した、釧路市音別地域交流拠点施設のオープニングセレモニーを開催する。</p> <p>(1)開催日 令和4年4月24日(日)</p> <p>(2)オープニングセレモニー内容 ①建設事業者へ感謝状贈呈 ②寄附受納感謝状贈呈 ③地域交流拠点施設の愛称採用者表彰 ・表彰状、記念品授与 ③音別の歌披露(ヒートボイス) ④テープカット</p> <p>(3)一般開放来場者に記念品配布</p>	<p>○令和4年4月24日(日)午前10時からのオープニングセレモニー開催にあたり、関係者への案内状の送付、地域内外の住民に向け、オープン案内の新聞広告を前日の23日(土)に掲載をした。</p> <p>完成に係る落成式は、滞りなく終了し、その後の、オープン(一般開放)には、予想を超える1,117人の入場があった。また、年間利用者数は予想を大きく上回る3万3633人(予想1万8000人)で、交流拠点として地域の賑わい創出に繋がった。</p> <p>○オープニングセレモニー内容 ①建設事業者へ感謝状贈呈 10事業者に贈呈 ②寄附受納感謝状贈呈 3事業者に贈呈 ③地域交流拠点施設の愛称採用者表彰 ・表彰状、記念品授与 最優秀賞 2名 優秀賞 4名 ③音別の歌披露(ヒートボイス) ・ヒートボイスが音別の街をイメージし作詞・作曲</p> <p>○一般開放来場者に記念品配布 ・記念品100名配布</p> <p style="text-align: center;">【セレモニーの様子】 【音別の歌披露】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)			142	
財源	一般財源 (千円)	0	142	0
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	0	0	0
①	職員数 (人)			
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.9	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 終了	
課題	令和4年度のみの方の事業のため空欄となります。	課題	・特になし
今後(令和5年度以降)の方向性	令和4年度のみの方の事業のため空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	国際交流推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	総合政策部市民協働推進課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 地域における多文化共生推進プラン(総務省) 外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策(法務省) 外国人材の受入拡大・共生に向けた対応方向(北海道)
目的と概要	市内に在住する外国人や観光・ビジネス等で訪れる外国人が、安心して過ごすための受入体制づくりを進め、地域の国際化及び多文化共生の推進を図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		761	939	927
財源	一般財源 (千円)	761	939	927
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	5,654	5,632	5,772
①	職員数 (人)	0.8	0.8	0.8
参考	市民一人あたりの費用 (円)		5.9	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果
<p>●くしろ国際交流プラザの管理・運営</p> <p>①国際交流等に関する情報発信 ②在住及び来釧外国人の生活・滞在等の相談対応</p> <p>●「やさしい日本語」セミナーの開催</p> <p>①市民対象セミナー、②市職員対象セミナー</p> <p>●多文化共生環境整備(他機関との連携)</p>	<p>●くしろ国際交流プラザの管理・運営 【画像1】</p> <p>利用日時:週3回(日、火、木)10時~13時開館 ◎利用人数:891人(日本人726人、外国人165人)</p> <p>●「やさしい日本語」セミナーの開催 【画像2】</p> <p>会場:釧路市観光国際交流センター3階(研修室) 講師:北海道大学高等教育推進機構 式部 絢子氏</p> <p>①市民対象セミナー 開催日:2022年(令和4年)10月2日(日)/参加者:24名</p> <p>②市職員対象セミナー 開催日:2022年(令和4年)10月3日(月)/参加者:10名</p> <p>◎外国人支援施策及び当市の取り組みについて ◎やさしい日本語実践トレーニング、ほか</p> <p>●多文化共生環境整備(他機関との連携)</p> <p>【共催】・「外国人のための無料相談会」 主 催:札幌出入国在留管理局釧路港出張所 共 催:釧路市 開催回数:12回(原則、毎月第3日曜日に開催) 会 場:くしろ国際交流プラザ</p> <p>【共催】・「JICAfe 2.0 in くしろ」 【画像3】 主 催:JICA北海道(帯広)/釧路デスク 共 催:釧路市、札幌出入国在留管理局釧路港出張所 開催日:2022年(令和4年)6月19日(日) ◎参加者:92名(日本人55名、外国人37名) ◎JICA海外協力隊体験談、在住外国人による自国紹介、釧路市によるやさしい日本語プチレッスン、ほか</p> <p>【協力】・「北海道外国人相談センター移動相談会 in 釧路」 主 催:北海道国際交流・協力総合センター 開催日:2022年(令和4年)12月17日(土) 会 場:釧路市交流プラザ「さいわい」(2階、207) ◎協力内容:市内在住外国人への周知及び当日の協力</p> <p>【協力】・「災害時外国人多言語支援事業 「在住外国人向け防災教育・訓練」 【画像4】</p> <p>主 催:北海道国際交流・協力総合センター 開催日:2023年(令和5年)2月17日(金) 会 場:釧路市民防災センター ◎協力内容:市内在住外国人への周知及び庁内関係課・関係機関との調整、当日の協力 参加者:22人</p>
<p>【画像1】 くしろ国際交流プラザ</p>	<p>【画像2】 「やさしい日本語」セミナー</p>
<p>【画像3】 JICAfe 2.0 in くしろ</p>	<p>【画像4】 在住外国人向け防災教育・訓練</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 市民の多文化共生社会に対する理解の促進(※コロナ禍における交流施設の活用) 市内で暮らす外国人に関する現状及び課題の把握 在住外国人が地域で安心して暮らせるための情報提供体制整備、受入環境及び多文化共生環境整備 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 市民の多文化共生社会に対する理解の促進 市内で暮らす外国人に関する現状及び課題の把握 在住外国人が地域で安心して暮らせるための情報提供体制整備、受入環境及び多文化共生環境整備
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> くしろ国際交流プラザ主催事業の充実、情報発信相談体制の強化 行政機関民間通訳者登録制度登録者、JICA等との連携強化 行政サービスにおける「やさしい日本語」の導入拡大及び市民への普及促進 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> くしろ国際交流プラザ主催事業の充実、情報発信相談体制の強化 行政機関民間通訳者登録制度登録者、JICA等との連携強化 在住外国人が地域で安心して暮らせるための情報提供体制及び環境の整備


令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	博物館交流提携事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	生涯学習部博物館
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	「炭鉱」という釧路との共通の歴史をもとに、新平溪煤礦博物園區(台湾炭鉱博物館)との友好協定による連携事業を継続的に実施し、文化的交流を推進する。 友好提携を契機に、台湾における釧路市の知名度をさらに上げ、インバウンドの増加につなげる。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	0	444	669
財源	一般財源 (千円)	0	444	669
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		2.8	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果
<p>(1) 友好提携の締結 「新平溪煤礦博物園區」と当館の友好館協定の締結 ・締結式は台湾にて開催</p> <p>(2) 釧路の石炭列車写真展(台湾・新平溪煤礦博物園區にて)</p>	<p>(1) 友好提携の締結 期日: 2023(令和5)年1月11日 会場: 新平溪煤礦博物園區(台湾新北市) 台湾側: 台湾政府文化部副部長・新北市幹部・同園区館長、釧路側: 市長・教育長ほか市幹部・市議会日台友好議連・釧路日台親善協会などの出席にて、友好館協定を締結した</p>  <p>(2) 釧路の石炭列車写真展(台湾・新平溪煤礦博物園區にて) 新平溪煤礦博物園區にて、企画展「台湾新北市平溪線と日本北海道釧路の炭鉱」として、同園区と共同で開催。 同園区は、国際的観光鉄道路線である台鉄平溪線沿線にあり、台湾のみならず外国人観光客にも釧路をPRできた。</p> 

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。	<input type="radio"/> 評価 <input checked="" type="radio"/> 継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。	<input type="radio"/> 評価 <input checked="" type="radio"/> 拡充
課題	令和3年度も新型コロナウイルス感染症の渡航制限により、実際の提携についてはしばらく行えない状況である。	課題	年度前半はコロナ禍というところもあり写真展の開催ができなかったが、年度後半からの海外渡航制限の緩和により友好館協定の締結を行うことができた。今後においては、田川市石炭・歴史博物館(福岡県)も含めた、3館での連携を深めていく必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	台湾側も引き続き、交流の継続と友好締結への期待・希望を持っており、渡航が自由となった後、事業を進めていく。それまでの間は、オンラインによる相互交流に努めていく。	今後(令和6年度以降)の方向性	先行して新平溪煤礦博物園區と友好館協定を締結する田川市石炭・歴史博物館との3館連携によって、3地域の炭鉱の歴史をテーマとする共同事業を実施し、国際交流の推進、観光客の誘致を進めていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	平和都市推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	市民環境部市民生活課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	釧路市民の総意である核兵器廃絶並びに恒久平和の実現に向け、被爆地を直接体験することで、より深く平和の大切さを学ぶため、長崎市に訪問団を派遣することで、平和事業の推進を図る。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
【事業計画】 被爆地訪問市民代表団派遣事業支援 被爆地を直接体験することで、より深く平和の大切さを学ぶため、釧路市平和都市推進委員会が主催する平和図書読書感想文コンクールで最優秀を受賞した生徒を長崎市へ派遣する事業支援を行う。 ・補助予定額 1,201千円 【事業概要】 日時:2022年(令和4年)8月7日から10日 派遣先:長崎市 団員:平和コンクール入賞者等6名 内容:①被爆77周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典参加 ②青少年ピースフォーラム参加 ③釧路市長平和メッセージ伝達、長崎原爆資料館見学 ④平和祈念像、平和公園見学	【事業実績】 釧路市平和都市推進委員会が主催する被爆地訪問市民代表団派遣事業支援のため、補助金を交付。 ・補助交付額 1,201千円 【実施内容】 日時:2022年(令和4年)8月7日から10日 派遣先:長崎市 団員:団長(釧路市平和都市推進委員会副委員長) 平和コンクール入賞者(高校生3名、中学生1名) 随行の6名 内容:①被爆77周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典参加 ②青少年ピースフォーラム参加 ③釧路市長平和メッセージ伝達、長崎原爆資料館見学 ④平和祈念像、平和公園見学     結団式:令和4年7月29日 解団式:令和4年8月16日 【成果】 ◎「核兵器廃絶平和都市宣言」の趣旨である核兵器の廃絶と戦争の根絶という平和思想を、未来を担う若者を通して市民に啓発することができた。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	0	1,201	0
財源	一般財源 (千円)	0	1,201	0
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	0	5,632	0
①	職員数 (人)		0.8	
参考	市民一人あたりの費用 (円)		7.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	・3年ごとに広島市と長崎市に交互に訪問団を派遣しており、R3年度を中止としたことから、今後の予定の再検討を行う。	課題	・被爆地訪問市民代表団派遣は3年に1度被爆地の広島市と長崎市へ交互に派遣を行っているが、受賞してから期間が最長で3年経過していることから、受賞者が釧路市から転居しているなど、状況が変わっていることもあり、連携している平和都市推進委員会より毎年の派遣、参加人数の拡大について意見、要望があがっている。
今後(令和5年度以降)の方向性	・釧路市平和都市推進委員会に諮り、R4年度実施で調整し、以降これまで同様3年おきの実施とする。	今後(令和6年度以降)の方向性	・次回実施は、令和7年度となる予定。今後の派遣のあり方について平和都市推進委員会と協議しながら実施していく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	動植物総合調査事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	生涯学習部博物館
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	釧路市社会教育推進計画
目的と概要	生態系の保全を図りながら利活用を促進するため、釧路湿原周辺の動植物総合調査を実施して基礎データを収集する。生態が未解明の鳥類のクイナや昆虫等について調査を行う。希少種のイトウについてはその保護・資源回復と、観光面も合わせた持続的な有効利用を図るために生息実態調査を行う。成果は論文、学会発表等により広く周知し、博物館の展示・教育普及活動の充実に活用する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		227	285	283
財源	一般財源 (千円)	227	285	283
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,120	2,112	2,165
①	職員数 (人)	0.3	0.3	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		1.8	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
(1)釧路湿原「クイナ」生息状況を把握するための生息・個体数調査(市民参加型調査を併催)	(1)釧路湿原「クイナ」生息状況を把握するための生息・個体数調査(市民参加型調査を併催) 既存地域において継続して生息確認ができた。また、特に希少であるシマクイナの生息も継続確認できた。釧路湿原にて、市民参加型の鳥類調査を実施できた。定員以上の応募があり、感心の高さが伺えた。【写真1】  【写真1】市民による調査の様子
(2)釧路湿原周辺に生息する植物、昆虫(飯島氏寄贈標本)等の標本調査	(2)釧路湿原周辺に生息する植物、昆虫(飯島氏寄贈標本)等の標本調査 昆虫類では所蔵する北海道東部産ハバチ類標本目録及び北海道東部産キバチ類標本目録を刊行した。植物では釧路湿原産標本の収蔵状況を調査した。
(3)飯島氏が遺した環境観察林「昆虫の棲む森」での野外調査と環境学習プログラムの検討	(3)飯島氏が遺した環境観察林「昆虫の棲む森」での野外調査と環境学習プログラムの検討 標茶町二ツ山「昆虫の棲む森」で昆虫相調査を実施して昆虫類標本約3,000点を新たに収集し、その記録を標茶町博物館と共同で研究報告した。また昆虫学習講座の講師も担当し、釧路湿原とその周辺における自然環境教育の拡充を図った。
(4)釧路川水系「イトウ」資源状況を把握するための繁殖・生息分布調査	(4)釧路川水系「イトウ」資源状況を把握するための繁殖・生息分布調査 釧路川水系の5支流で現地調査を実施し、各支流で産卵床を確認した。これらの知見は関係行政機関等に情報提供を行い、自然再生事業が実施されるなど、保護に向けて生かされている。成果は今後の企画展等で活用していく。
(5)「サケ・マス類の普及観察会」「ガイド事業者向け昆虫・植物講座」を実施	(5)「サケ・マス類の普及観察会」「ガイド事業者向け昆虫・植物講座」を実施 コロナ感染防止のため中止。なお、道内の学校からの依頼により、児童向けのサケ・マスの普及観察会を実施した。

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	調査によって確実な成果が得られており、その成果の市民還元手法について検討する余地がある。	課題	調査成果の市民還元手法について検討する余地がある。また、研究機関との連携をより強固にしていくことで、より良い調査成果を得られると考えられる。
今後(令和5年度以降)の方向性	市民参加型の調査の継続など調査人員の確保を図りながら、より効果的な調査の方法について検討する。得られた成果を企画展・研究報告書等で市民へ公開するとともに、インターネットを通じ地域の自然が持つ財産を市民へ広く紹介する。	今後(令和6年度以降)の方向性	これまでの調査は継続しつつ、新しい調査地や手法についても検討し、今後の事業をより円滑に展開していく。得られた成果を企画展・研究報告書等で市民へ公開するとともに、普及活動及びインターネットを通じ地域の自然が持つ財産を市民へ広く紹介する。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	自然観察等教育普及活動事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	生涯学習部博物館
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	学芸員の資質向上を進めて博物館活動の充実を図るため、各種学会や研究会に学芸員が参加し、当館に蓄積された研究成果を広く発信するとともに、最新の研究動向を吸収し、また他館と活動状況等の情報交換を行う。 これらの成果を企画展で広く紹介するとともに、展示と連動した観察会や講演会等の関連事業を開催して、展示への理解を深める。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																																																								
<p>○企画展及び講演会・観察会の開催 釧路地域に特徴的ないきもの、釧路地域の湿原、釧路の近代史(石炭列車)をテーマとした企画展を開催する。また、展示に関連した観察会・講演会を実施する。</p>   <p>【写真1】「湿原の王国・道東」会場 【写真2】「炭鉱と、港と」会場</p>	<p>○企画展及び講演会・観察会の開催 (1)企画展の開催 ◎「湿原の王国・道東」 期間:7月9日(土)~10月16日(日) 会場:博物館ほか 来場者数 10526名 【写真1】 ◎「炭鉱と、港と~釧路臨港鉄道・太平洋石炭販売輸送臨港線の軌跡~」 期間:1/28(土)~5/7(日) 会場:博物館 来場者数 4208名 【写真2】</p> <p>(2)講演会の実施 ◎シンポジウム「キタさんトーク 発見!氷河期の小さなサバイバー」 期日:7/3(日) 会場:博物館 講師:西川完途氏(京都大学大学院准教授) 参加者数:50名 ◎十條製紙・日本製紙釧路工場の話の聞く会<<らし編>> 期日:11/20(日) 会場:博物館 講師:広羽征二氏、福井華那氏 参加者数:46名</p> <p>○博物館刊行物の発行 「日本製紙釧路工場の記録」の発行</p> <p>○学会・研修会への参加 (1)学会への参加 全国石炭産業関連博物館等研修交流会(台湾)に参加し、投函に蓄積された研究成果を発表するとともに、最新の研究情報を手にする。 (2)研究会・研修会への参加 当館の事例を発表するとともに、道内各館の先進事例に関する情報を手にする。</p> <p>○博物館刊行物の発行 ◎記録集「工場と地域 十條製紙・日本製紙釧路工場とともに」 講演会「十條製紙・日本製紙釧路工場の話の聞く会」の内容や、地域に係わる記録を収録した。 500部発行</p> <p>○学会・研修会への参加 (1)学会への参加 新型コロナウイルスの影響により、オンラインで参加した。 (2)研究会・研修会への参加 釧路市立博物館を会場に開催された「北海道博物館協会学芸職員部会研修会」に参加し、GIS技術について発表・情報収集した。</p>																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【予算・決算データ】</th> <th>令和3年度 (決算額)</th> <th>令和4年度 (決算額)</th> <th>令和5年度 (予算額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>総額 (千円)</td> <td>1,992</td> <td>2,006</td> <td>4,750</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">財源</td> <td>一般財源 (千円)</td> <td>1,354</td> <td>717</td> <td>992</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金 (千円)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債 (千円)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料・手数料 (千円)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他特定財源 (千円)</td> <td>638</td> <td>1,289</td> <td>3,758</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【参考データ】</th> <th>令和3年度 (決算額)</th> <th>令和4年度 (決算額)</th> <th>令和5年度 (予算額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参考</td> <td>職員人件費 (千円)</td> <td>2,827</td> <td>2,816</td> <td>2,886</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>職員数 (人)</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>参考</td> <td>市民一人あたりの費用 (円)</td> <td></td> <td>12.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>市民一人あたりの将来負担額 (円)</td> <td></td> <td>0.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在) 注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。</p>	【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)	事業費	総額 (千円)	1,992	2,006	4,750	財源	一般財源 (千円)	1,354	717	992	国庫支出金 (千円)				地方債 (千円)				使用料・手数料 (千円)				その他特定財源 (千円)	638	1,289	3,758	【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)	参考	職員人件費 (千円)	2,827	2,816	2,886	①	職員数 (人)	0.4	0.4	0.4	参考	市民一人あたりの費用 (円)		12.6		②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0		
【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)																																																					
事業費	総額 (千円)	1,992	2,006	4,750																																																					
財源	一般財源 (千円)	1,354	717	992																																																					
	国庫支出金 (千円)																																																								
	地方債 (千円)																																																								
	使用料・手数料 (千円)																																																								
	その他特定財源 (千円)	638	1,289	3,758																																																					
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)																																																					
参考	職員人件費 (千円)	2,827	2,816	2,886																																																					
①	職員数 (人)	0.4	0.4	0.4																																																					
参考	市民一人あたりの費用 (円)		12.6																																																						
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0																																																						

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等


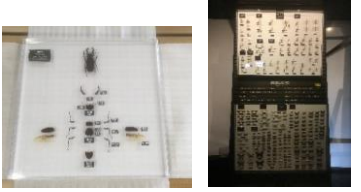
令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ポストコロナに対応する博物館活動の知名度アップのため学芸員の手による集客力向上の取り組みが求められる。 蓄積された研究成果を発信する刊行物の作成や、企画展・講演会等の普及行事の充実、方法の検討が必要。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 博物館活動の知名度アップ・地域の魅力発信のため、学芸員の手による集客力向上の工夫が求められる。 蓄積された研究成果を発信する刊行物の作成や、企画展・講演会等の普及行事の充実、方法の検討が必要である。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 学芸員の資質向上と市民ニーズ把握により学ぶ機会を提供する。 研究成果や街の情報を、オンライン発信等、多様な手段で広く紹介するほか、刊行物の作成、企画展及び関連事業の開催活動を通して、教育普及活動のさらなる充実を引き続きを図っていく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 学芸員の資質向上と市民ニーズ把握により、学ぶ機会を広く提供する。 研究成果や街の情報を、オンライン発信、動画の作成等、多様な手段で広く紹介するほか、刊行物の作成、企画展及び関連事業の開催活動を通して、教育普及活動のさらなる充実を引き続きを図っていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	博物館常設展示更新事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	生涯学習部博物館
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	釧路市社会教育推進計画
目的と概要	開館以来博物館が収集した資料や最新の研究成果を活用して、市民の「ふるさと釧路」への理解促進、来館・来釧の増加に寄与することを目的に常設展示を更新する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○常設展示の魅力発信 常設展示ミニ探検事業の実施 展示資料の隠れた魅力をクイズ形式で紹介することで、常設展示室(有料ゾーン)への入館を促す。</p>  <p>○常設展示の更新・拡充 昆虫常設展示の更新・拡充 収集した資料を活用して、昆虫分野の常設展示を更新・拡充する。</p>	<p>○常設展示の魅力発信 「常設展示探検 はっくんからのちょうせんじょう『展示室でくしろのひみつをさがせ!』」の実施 常設展示室内を巡ってクイズラリーに参加してもらい、参加者に地域に対する理解を深めてもらうとともに、マンモスホールから有料ゾーンへの誘導も図った。 ◎期間:2022(令和4)年7月27日～8月31日 ◎参加者数:758人</p> <p>「道みんの日」(7月17日)無料入館の実施 北海道が主導する「道みんの日」の取り組みについて、博物館の利用促進と地域の自然・歴史を学ぶ機会の拡充のため、同日について常設展示入館料を無料とした。 ◎期日:2022(令和4)年7月17日 ◎入館者数:444人</p> <p>○常設展示の更新・拡充 昆虫常設展示の更新・拡充 昆虫の中でも愛好家が多いトンボ・チョウ類を更新、拡充した。また「昆虫の体の仕組み」の展示は、樹脂封入標本を新たに製作して展示した。</p> <p>(1)「釧路の昆虫」の展示更新・拡充 ◎更新内容:「釧路のトンボ」「釧路のチョウ」 ◎更新点数:トンボ43種84点、チョウ84種150点</p> <p>(2)「昆虫の体の仕組み」の製作・展示 ◎更新内容:トンボ・セミ・キリギリス・チョウ・クワガタムシ ◎更新点数:5種5点</p> 

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		1,791	873	4,286
財源	一般財源 (千円)	823	873	1,838
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
		968		2,448
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,120	2,112	2,165
①	職員数 (人)	0.3	0.3	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		5.5	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	現在の展示が完成して35年以上が経過し、研究成果を反映した適度な展示替えや、案内看板の設置が必要である。また、これまでの展示更新内容を踏まえた展示案内書の新規作成が必要。	課題	収蔵庫が飽和状態になるため、展示更新・拡充により、収蔵資料の有効な活用を図る。あわせてより魅力的な展示ができるよう収蔵庫の整理・拡充等を図り、資料収集体制を強化する必要がある。また映像展示等、技術革新が著しい分野を活用しての対応が求められる。
今後(令和5年度以降)の方向性	蓄積された研究成果等を効果的に展示に反映するため、最新の展示手法等の情報収集に努め、計画性をもってより効果的な展示に更新していく。	今後(令和6年度以降)の方向性	地域情報及び資料を積極的に収集整理保存し、刊行物の出版や展示更新・拡充等に活用を図ることで来館者サービスを向上させる。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	図書館管理運営事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	生涯学習部生涯学習課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	釧路市社会教育推進計画
	第2期釧路市図書館基本計画
目的と概要	釧路市図書館基本計画に掲げる釧路市がめざす図書館の在り方の基本理念、基本目標に沿った具体的施策に取り組み、図書館が地域の情報拠点として重要な役割を担うよう、図書館の管理運営を行っていく。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
○計画的な図書館資料整備、図書館システムの更新 等	○計画的な図書館資料整備、図書館システムの更新 等
(1)図書館資料整備事業 釧路市図書館資料収集方針に基づき計画的な図書館資料の購入を行う。	(1)図書館資料整備事業 児童書や絵本、小説を中心に購入。 (経常費と合算して14,351冊)
(2)図書館システムの更新(委託) システムで使用しているサーバ機器のサポート期間終了に伴い、図書館システムのアップデートを行い、円滑に図書館業務が行われる環境を整備する。	(2)図書館システムの更新(委託) ・業務委託業者: 富士通Japan(株)北海道支社 ・R5.3月から新システム稼働 ・新システム: iLis Wing V4
(3)図書館業務用パソコンの更新 不具合が頻発している端末を中心に釧路市図書館施設6館(室)の端末を更新し、業務の円滑化を図る。	(3)図書館業務用パソコンの更新 ・更新台数: 35台 (内訳)中央図書館 18台 西部地区図書館 4台 東部地区図書館 4台 中部地区図書館 4台 阿寒町公民館図書室 3台 音別町ふれあい図書館 2台

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		14,518	43,255	14,853
財源	一般財源 (千円)	0	31,340	9,853
	国道支出金 (千円)	9,518		
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	5,000	11,915	5,000
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考 ①	職員人件費 (千円)	2,120	2,112	2,165
	職員数 (人)	0.3	0.3	0.3
参考 ②	市民一人あたりの費用 (円)		272.0	
	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

●釧路市図書館施設の蔵書構成及び購入冊数(分館・分室を含む/雑誌を含む) (経常費分含む) 単位:冊

分類項目	総記	哲学	歴史	社会	自然	技術	産業	芸術	言語	文学	
令和3年度	10,835	11,345	25,554	40,365	20,280	29,884	9,844	32,153	5,239	30,253	
令和4年度	10,877	11,490	26,350	41,509	20,761	30,077	10,055	32,292	5,317	30,284	
令和4年度購入	294	315	848	1,068	712	821	316	744	113	301	
分類項目	小説	文庫	YA	児童書	絵本	紙芝居	郷土	雑誌	AV	その他	合計
令和3年度	86,398	43,726	12,454	87,566	64,036	4,568	70,947	15,735	19,428	644	621,254
令和4年度	83,525	43,997	12,308	87,814	61,322	4,573	76,123	16,174	21,465	644	626,957
令和4年度購入	1,346	934	317	1,364	1,126	81	233	3,208	210	0	14,351

※AV・・・「オーディオ・ビジュアル」の略語で、DVD、CD等の視聴覚資料のこと。

※YA・・・図書館で13～19歳の年代を指す「ヤングアダルト」の略語。

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	計画的な蔵書更新の継続と、日々変化していく社会情勢や、各館ごとに異なる利用者ニーズ及び蔵書構成を考慮した資料収集が必要である。	課題	図書館が地域の情報拠点として重要な役割を担うよう、計画的な蔵書更新及び利用者ニーズ等を考慮した資料整備、図書館業務用機器類の更新、環境整備が必要である。
今後(令和5年度以降)の方向性	読書活動サポートセット等の活用にあわせ、学校等に対する読書活動支援を一層強化するとともに、社会情勢や市民ニーズ等を考慮しながら、各館における計画的な蔵書更新と資料整備を行う。	今後(令和6年度以降)の方向性	導入から5年が経過する図書館業務用機器類の更新等を検討するとともに、社会情勢や利用者のニーズ等を考慮しながら、各館における蔵書更新と資料整備を計画的に行っていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	確かな学力向上推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	学校教育部教育支援課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市教育推進基本計画
目的と概要	変化の激しいこれからの社会を生きる子ども達には、確かな学力(知識や技能に加え、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等まで含めたもの)を育むことが必要である。「授業づくり」「環境づくり」「習慣づくり」の3つの視点から、学校・家庭・地域・教育委員会が一体となった施策を実施し、確かな学力の向上を目指す。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	5,594	6,425	9,043
財源	一般財源 (千円)	5,212	5,944	7,110
	国道支出金 (千円)	382	481	1,933
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	4,947	4,928	5,051
①	職員数 (人)	0.7	0.7	0.7
参考	市民一人あたりの費用 (円)		40.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>●確かな学力向上推進事業 「授業づくり」「環境づくり」「習慣づくり」の3つの視点に基づく取組を進め、児童生徒の確かな学力の定着に努める。</p> <p>(1)長期休業中及び放課後における補習 ○長期休業中(夏季・冬季)における補習 令和3年度実績:全小中学校で実施している夏季・冬季休業の補習のうち、支援希望の延べ9校を対象に延べ24名の学生ボランティアを派遣 ○放課後における補習 令和3年度実績:実施希望の学校18校を対象に市教委会計年度任用職員等の支援員13名を派遣(小学校)／4校を対象に学生ボランティア3名による支援(中学校)</p> <p>(2)北海道教育委員会配信問題(チャレンジテスト)等の活用 平成22年度より実施している道教委配布問題(令和3年度より配信問題)を各小中学校で積極的に活用してもらう目的で、チャレンジテスト問題用紙作成用の紙を支給し、各学校で行う学力向上の取組を支援する。</p> <p>(3)釧路市標準学力検査／生活行動・学習活動調査の実施と個別復習教材によるフォローアップ 小学校3～6年、中学校1～2年を対象に、国語、算数・数学の2教科において、到達度を調査する標準学力検査を実施するとともに、調査結果に基づく学力の定着度の把握・検証を行い、基本的な学習習慣が身につけているかの自己確認の意識を高める。</p> <p>(4)学力向上先進地調査 地域の教育支援活動を推進する人材の資質向上を図るとともに他市町村との情報交換を行う。</p>	<p>●確かな学力向上推進事業 事業実績は以下のとおり。</p> <p>(1)長期休業中及び放課後における補習 ○長期休業中(夏季・冬季)における補習 令和4年度実績:全小中学校で実施している夏季・冬季休業の補習のうち、支援希望の延べ10校を対象に延べ19名の学生ボランティアを派遣 ○放課後における補習 令和4年度実績:実施希望の学校19校を対象に市教委会計年度任用職員等の支援員13名を派遣(小学校)／9校を対象に学生ボランティア7名による支援(中学校)</p> <p>(2)北海道教育委員会配信問題(チャレンジテスト)等の活用 【対象学年 教科】小1～中3 国語、算数・数学 ※小3～中3は理科・社会も実施、中1～3は学年末に英語も実施 ※サポート問題、夏・冬・春休み版は国語、算数・数学で通年配信</p> <p>(3)釧路市標準学力検査／生活行動・学習活動調査の実施と個別復習教材によるフォローアップ 【実施日】令和4年12月9日 【実施学年(教科)】 小学校・義務教育学校3～6年(国語・算数) 中学校1～2年・義務教育学校7～8年(国語・数学) ○各学校において児童生徒の学力の定着状況を把握し、自校における学力向上に関する教育活動の成果と課題を分析し、学習指導の工夫・改善を図ることができた。 ○基本的な学習・生活習慣の確立を自己確認することで、個々の課題に応じて具体的な目標を掲げ、主体的に努力する児童・生徒の育成を図ることができた。</p> <p>(4)学力向上先進地調査 秋田県大館市:令和4年11月8日～11月11日 教育指導主事1名、授業マイスター2名参加</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見直し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 長期休業中及び放課後における補習事業を継続させるためには、派遣する学生等支援員の安定的な確保が必要である。 調査結果の分析による実態把握から、成績下位層の児童生徒を対象とした効果的な指導の在り方について検討・提示を行い、家庭学習習慣化の定着を図る。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 長期休業中及び放課後における補習事業を継続させるためには、派遣する学生等支援員の安定的な確保が必要である。 調査結果の分析による実態把握から、成績下位層の児童生徒を対象とした効果的な指導の在り方について検討・提示を行い、家庭学習習慣化の定着を図る。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度も、北海道教育大学との連携による中学校を対象とした放課後学習サポート事業を継続したが、学生ボランティアの確保について、教育大学生以外の学生へも周知を図るなど、協力体制の拡大の検討を図ることが必要である。 確かな学力の向上に関しては、学習活動支援や家庭・地域との連携支援など、児童生徒一人一人の学びを保障する体制を整え、学力の確実な定着に向けて、学習習慣作りや望ましい生活習慣作りの確立を図っていく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は、北海道教育大学に加え、新たに釧路公立大学とも連携し、中学校を対象とした放課後学習サポート事業を継続したが、学生ボランティアの確保について更なる協力体制の方向性を探ることが必要である。 学習活動支援や家庭・地域との連携支援など、児童生徒一人一人の学びを保障する体制を整え、学力の確実な定着に向けて、学習習慣作りや望ましい生活習慣作りの確立を図っていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	特別支援教育推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	学校教育部教育支援課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市教育推進基本計画
目的と概要	障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けて、その一人一人の特別な教育的ニーズを把握して、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行う。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		88	8,798	12,136
財源	一般財源 (千円)	△ 987	5,870	8,212
	国道支出金 (千円)	1,075	2,928	3,924
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		55.3	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果												
<p>○特別支援教育の推進</p> <p>①特別支援教育に係る研修の実施 特別支援教育の推進や個別に支援が必要な児童生徒に対する指導体制の充実を図るため、研修を実施</p> <p>②巡回教育相談の実施 特別な教育的ニーズを必要とする児童生徒への支援のため、学校及び保護者に対して、指導内容及び方法、学校の支援体制、関係機関との連携等に関する助言を行う巡回相談を実施</p>	<p>○特別支援教育の推進</p> <p>①特別支援教育に係る研修の実施(春季・夏季の2回) (春季)「一人一人に応じた支援の在り方について」 ・実施日: R4.5.27 ・講師: 釧路市教育委員会 指導主事 (夏季)「教員と指導員の連携について」 ・実施日: R4.7.29 ・講師: 釧路市立小学校 教諭</p> <p>◎基本的な知識や児童生徒に関わり方、先生達同士の連携について学び、支援方法に活かす知識を得る機会となった。</p> <p>②巡回教育相談の実施 ・小学校 279件、中学校 31件 ※阿寒湖義務教育学校の前期課程を小学校、後期課程を中学校に含む</p> <div style="text-align: center;"> <p>巡回教育相談件数</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>339</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>290</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>279</td> <td>31</td> </tr> </table> </div> <p>◎要望内容の精査及び北海道公立学校スクールカウンセラーの活用、訪問の効率化により巡回相談件数は減少しているが、依然として要望量は増加傾向にあり、今後も特別な支援を必要とする子ども達に対する支援体制の充実を図っていく。</p> <p>○特別支援教育の体制整備 特別支援教育指導員(R4年度末) ・通常の学級: 24名 ・特別支援学級: 30名</p>	年度	小学校	中学校	R2	339	57	R3	290	51	R4	279	31
年度	小学校	中学校											
R2	339	57											
R3	290	51											
R4	279	31											
○特別支援教育の体制整備 学校生活における日常生活上の介助や学習活動上の支援などを行う特別支援教育指導員を配置													

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 拡充	
課題	「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が令和3年9月18日に施行され、学校の設置者は医療的ケア児に対し適切な支援を行うこととされていることから、切れ目ない支援を行うための体制を確保する必要がある。	課題	全国的に特別支援学級の児童生徒は増加傾向にあり、釧路市も例外ではないことから、一人一人に手厚い支援が求められている。特別支援教育指導員の人材確保及び適正な配置を行う等のより充実した支援体制を整備する必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	特別な支援を必要とする児童生徒に対して、巡回相談の実施等を行い、支援体制の充実を図る他、医療的ケア児に対しては継続的に支援を行うことが責務とされていることから、看護師を恒常的に配置し、適切な医療的ケアを実施するための環境整備を行う。	今後(令和6年度以降)の方向性	特別な支援を必要とする児童生徒へ巡回相談の実施等を行うとともに、指導員の適正な配置を実施し、支援体制の充実を図る。また、医療的ケア児への支援が法律により責務とされていることから、看護師を配置し、適切な医療的ケアを実施するための環境整備を行う。

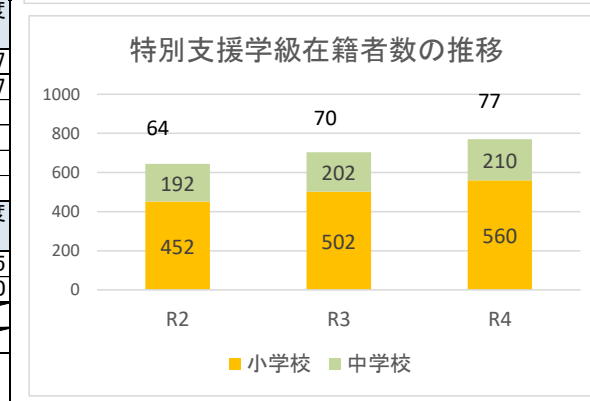
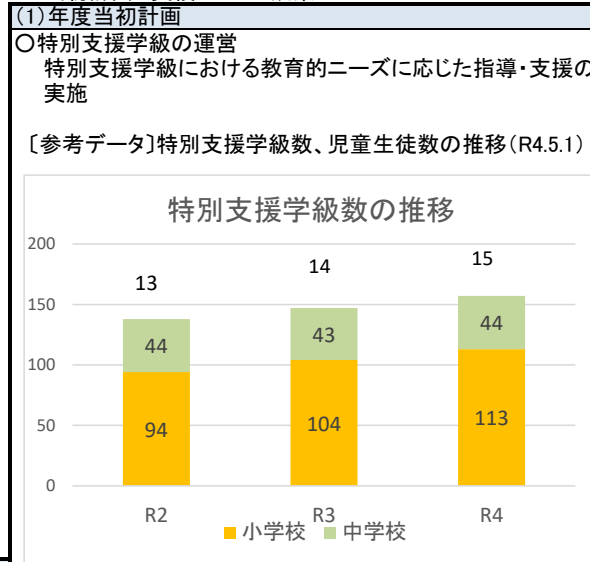
令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	特別支援学級事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	学校教育部教育支援課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市教育推進基本計画
目的と概要	障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けて、その一人一人の特別な教育的ニーズを把握して、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行う。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		8,388	8,975	11,857
財源	一般財源 (千円)	8,388	8,975	11,857
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		56.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3未現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果



(2)事業の実績と成果

○特別支援学級の運営

(1)特別支援学級の新設及び運営に係る消耗品・備品等の購入
(2)肢体不自由学級在籍者に対する通学支援
(3)釧路市特別支援教育研究会との共催事業・教育展
実施日:11/17(木)~11/22(火)
参加数:市内小中学校29校
場所:生涯学習センター【写真1・2・3・4】

(4)特別支援学級の新設
小学校:言語 1校、肢体 2校、病虚弱 2校
中学校:病虚弱 1校

【写真1】

【写真2】

【写真3】

【写真4】

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	特別支援学級の在籍者数が増加傾向であるため、より充実した支援体制が必要であり、また特別支援学級数も同様に増加傾向であることから、特別支援教育を推進し易い環境を整備していただくが求められている。	課題	特別支援学級に在籍する児童生徒が増加傾向にあることから、特別支援学級担当教諭の専門性の向上や、関係機関との連携を図る等、特別支援教育に対する一層の支援体制の充実が求められている。
今後(令和5年度以降)の方向性	特別支援における学級数及び在籍者数の増加が顕著であることから、特別支援教育を一層充実させ、児童生徒一人一人の特性に合わせた教育環境を整備し、適切な支援を行っていく。	今後(令和6年度以降)の方向性	特別支援教育の推進にあたり、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援が求められることから、関係機関との連携を図り支援体制の充実を図るとともに、教育環境の整備に努めていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	学校教育部教育支援課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市教育推進基本計画
目的と概要	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など児童生徒の問題行動等については、極めて憂慮すべき状況にあり、教育上の大きな課題である。児童生徒の問題行動等の状況や背景には、心の問題とともに、家庭、友人関係、地域、学校等その置かれている環境の問題が複雑に絡み合っていることから、教育分野の知識に加えて社会福祉等の専門的な知識や経験を用いて、児童生徒が置かれた様々な環境への働きかけや、関係機関とのネットワークを活用して、さらには問題を抱える児童生徒を支援するスクールソーシャルワーカーを配置し、教育相談体制を整備する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額	(千円)	5,330	6,039	4,614
一般財源	(千円)	4,030	4,739	3,314
国道支出金	(千円)	1,300	1,300	1,300
地方債	(千円)			
使用料・手数料	(千円)			
その他特定財源	(千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考 職員人件費	(千円)	2,827	2,816	2,886
① 職員数	(人)	0.4	0.4	0.4
参考 市民一人あたりの費用	(円)		38.0	
② 市民一人あたりの将来負担額	(円)		0.0	
注1)	釧路市民の人口	159,014 人 (R5.3末現在)		
注2)	市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。			

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
○スクールソーシャルワーカーの配置 年間総勤務日数 175日間(1日5時間) 不登校などの児童生徒を取り巻く環境への働きかけを行うため、教育分野に福祉の仕組みを取り入れ、学校・家庭・地域一体の包括的な支援を展開する。 学校適応指導教室(ふれあい教室)や不登校学級(青空学級)、こども家庭支援センターを不登校・不登校の拠点とし、関係機関が一体となった取り組みを行う。 ※スクールソーシャルワーカー: 問題を抱える児童・生徒を取り巻く環境へ働きかけ、関係機関等との連携・調整を行う。 各小中学校への「派遣型」として、教育支援課に3名配置。	○スクールソーシャルワーカーの活動状況 年間総勤務日数 185日間(1日5時間) 【事業概要】 ●スクールソーシャルワーカー活用事業地域別研修会(リモート参加) ●訪問活動の回数 (学校41回、家庭63回、適応指導教室16回、関係機関90回) ●市教委主催のケース会議開催回数 23回 ●福祉担当部署主催ケース会議出席回数 41回 ●連携した関係機関等の数 332件 (児童家庭福祉、保健・医療、適応指導教室などの機関) ●支援の対象となった児童生徒数 191名 ◎継続支援対象児童生徒(135名)の抱える問題と支援の状況 ・不登校 69件 (問題が解決19件、支援中であるが好転30件、支援中19件、その他1件) ・児童虐待 16件 (問題解決が1件、支援中であるが好転6件、支援中9件、その他0件) ・家庭環境の問題 93件 (問題が解決23件、支援中であるが好転44件、支援中22件、その他4件) ・心身の健康・保健に関する問題 68件 (問題が解決15件、支援中であるが好転28件、支援中18件、その他7件) ・発達障害等に関する問題 39件 (問題が解決10件、支援中であるが好転18件、支援中8件、その他3件) ・貧困の問題 15件 (問題が解決2件、支援中であるが好転7件、支援中5件、その他1件)
◆事業の推進体制	

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。	評価: 継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。	評価: 継続維持
課題	不登校の要因は複雑化・深刻化しており、支援対象児童生徒は増加傾向にある。児童生徒本人だけでなく、家庭環境が抱える問題を見極め、適切な支援の方向を探るために、チームによる体制の強化及び資質向上と、医療機関や福祉機関等の各関係機関とのより一層連携した効果的な支援展開が望まれる。	課題	不登校の要因は複雑化・深刻化しており、支援対象児童生徒は増加傾向にある。児童生徒本人だけでなく、家庭環境が抱える問題を見極め、適切な支援の方向を探るために、チームによる体制の強化及び資質向上と、医療機関や福祉機関等の各関係機関とのより一層連携した効果的な支援展開が望まれる。
今後(令和5年度以降)の方向性	個々の児童生徒に対する細やかな支援メニューや支援策を検討するとともに、家族介護者支援の新たな視点や気づきにも目を向け、関係機関との連携の在り方などに関する情報・認識を共有し実践していく。	今後(令和6年度以降)の方向性	個々の児童生徒に対する細やかな支援メニューや支援策を検討するとともに、家族介護者支援の新たな視点や気づきにも目を向け、関係機関との連携の在り方などに関する情報・認識を共有し実践していく。



令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	不登校対策事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	学校教育部教育支援課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市教育推進基本計画
目的と概要	近年の不登校の状況は、学校や友人関係の問題に限らず、保護者との関係や生活環境など、多様な要因が複雑に絡み合い、担任の登校支援のみでは登校に至らないケースが多くあり、適応指導教室や不登校学級等への通室・通級へ結びつけるためにもその要因となる環境への働きかけが必要となっている。そのため、宿泊体験学習の実施により、不登校児童生徒と学校・関係機関を結ぶきっかけをつくり、体験活動を通じて児童生徒の協調性・社会性・自律心・忍耐力を育て、自己肯定感を身に付けさせるとともに、登校支援プログラムの実施により、家庭教育支援事業と連動させた、効果的な不登校学級等へのつながりを行い、不登校状況の改善を図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		2,139	2,160	2,457
財源	一般財源 (千円)	1,112	1,356	909
	国道支出金 (千円)	1,027	804	1,548
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,120	2,112	2,165
①	職員数 (人)	0.3	0.3	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		13.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
①不登校児童生徒体験学習事業の実施 市内小中学校に在籍する不登校状況にある全ての児童生徒を対象として、社会教育機関と連携した宿泊体験学習を実施する。	①不登校児童生徒体験学習事業 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
②登校支援プログラム(ステップ・アップ・プログラム)の実施 不登校等教育的課題を抱える家庭に対する支援として、家庭からの第一歩を踏み出すことができない児童生徒を対象として実施する「ファースト・ステップ・プログラム」と連動させ、次のステージとして想定される、適応指導教室や不登校学級等への効果的なつながりを行う。	②登校支援プログラム(ステップ・アップ・プログラム) 社会福祉法人釧路まりも学園との委託契約による支援展開 1 対象児童生徒数 4名(中学生6名) 2 支援回数 延べ279回 3 復帰等児童生徒数 4名 <div style="text-align: center;"> 【適応指導教室】  ふれあい教室 【不登校学級】  青空学級(中学校) </div>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="width: 50px;">評価</td> <td style="width: 100px;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="width: 50px;">評価</td> <td style="width: 100px;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携を進め、不登校学級(青空・さわやか等)以外の児童生徒の参加を促していくとともに、参加しやすいプログラムを作成していく必要がある。 今後、より充実した支援を展開するにあたり、支援拠点となる環境整備が必要である。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携を進め、不登校学級以外の児童生徒の参加を促していくとともに、参加しやすいプログラムを作成していく必要がある。 今後、より充実した支援を展開するにあたり、支援拠点となるハードの整備が必要である。 				
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊体験学習については、関係機関との連携を進め、不登校児童生徒の参加を促すとともに、参加しやすいプログラムの作成に努めていく。 家庭教育支援事業の「ファースト・ステップ・プログラム」等の既存の様々な施策と連動し、不登校児童生徒への支援の充実を図る。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊体験学習については、関係機関との連携を進め、不登校児童生徒の参加を促すとともに、参加しやすいプログラムの作成に努めていく。 家庭教育支援事業の「ファースト・ステップ・プログラム」等の既存の様々な施策と連動し、不登校児童生徒への支援の充実を図る。 				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	いじめ非行防止対策事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	学校教育部教育支援課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市教育推進基本計画 釧路市いじめ防止基本方針
目的と概要	「釧路市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめは決して許されない行為であり、どの児童生徒にも、どの学校でも起こりうるものであることを十分認識の上、学校、家庭、地域住民、その他の関係者の相互の連携協力のもと、いじめの防止、早期発見、及びいじめの対処のための対策を総合的かつ効果的に実施する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>●事業概要</p> <p>①いじめに関する実態調査等の実施 「いじめに関する実態調査」や「携帯電話等に関するアンケート調査」によるいじめの問題に係る実態把握を進め、各学校における適切な指導体制の確立につなげる。</p> <p>②スクールカウンセラーの配置による教育相談体制の充実 市教委スクールカウンセラー(1名)のほか、北海道スクールカウンセラー活用事業(道教委)の運用により、全市的な教育相談体制の充実を図る。</p> <p>③教育相談窓口の充実 主にいじめや学校に関する子どもたちの悩みについて、教育委員会や教育研究センターにおける教育相談、「いじめカットライン」(専用相談電話)による相談体制を整える。</p> <p>④「Q-U」「アセス」の実施による教育相談の充実 子ども一人一人の内面の状況を客観的に捉える「Q-U」や「アセス」の実施を通して、的確な児童生徒理解に基づく教育相談の充実を図り、いじめや悩みごとの早期発見につなげる。</p>	<p>●事業実績</p> <p>①いじめに関する実態調査等の実施 〈いじめ認知件数〉 ※いじめに関する実態調査(年3回実施)より R4年度: 小学校1,264件・中学校330件=合計1,594件 ※速報値</p> <p>〈携帯電話等に関するアンケート調査〉 実施時期: 令和4年12月(2年ごと実施) 調査対象: 小学校4～6年生、中学校1～3年生、※保護者は任意 ※アンケート回答例 「SNSや掲示板、ブログなどで悪口を書かれたことがある」と回答 ～小学校2.2%、中学校4.6% ※速報値</p> <p>②スクールカウンセラーの配置による教育相談体制の充実 市教委スクールカウンセラー1名、北海道スクールカウンセラー活用事業(道教委)によりスクールカウンセラー8名を、小学校15校、中学校14校に配置し、児童生徒に対する教育相談を行った。</p> <p>③教育相談窓口の充実 〈いじめ相談件数〉 ※電話・メール・来庁による相談受付件数 R4年度: 小学校5件・中学校4件・不明0件=合計9件</p> <p>④「Q-U」「アセス」の実施による教育相談の充実 きめ細やかな児童生徒理解といじめ等の早期発見に向け、「いじめに関する実態調査」及び年2回の「Q-U」「アセス」を実施し、個別の教育相談の充実を図った。</p> <p>※「Q-U」～小学校1～4年生対象 ※「アセス」～小学校5・6年生、中学校1～3年生対象</p> <p>◎事業成果 いじめの認知件数の把握に努めることにより、学校側のきめ細やかな対応を含め、いじめの初期段階の積極的な関わりと防止対策にもつながっている。</p>
<p>※「Q-U」とは 不登校・いじめ・学級崩壊の予防、より良い教育実践の効果測定を目的として、子どもたちの学校生活における満足度を測る標準化された心理検査</p>	<p>※「アセス」とは 「生活満足感」「教師サポート」「友人サポート」「向社会的スキル」「非侵害的関係」「学習的適応」の6つの側面から、学</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		1,217	1,207	1,372
財源	一般財源 (千円)	1,217	1,207	1,372
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,120	2,112	2,165
①	職員数 (人)	0.3	0.3	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		7.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3未現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> いじめの問題への意識の高揚を図り、未然防止や早期発見に向けた更なる指導体制の整備、教育相談体制の充実。 学校や保護者、地域、関係機関との細やかな情報共有と連携。 インターネット等によるいじめの防止に向けた対応策の充実。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> いじめの問題への意識の高揚を図り、未然防止や早期発見に向けた更なる指導体制の整備、教育相談体制の充実。 学校や保護者、地域、関係機関との細やかな情報共有と連携。 インターネット等によるいじめの防止に向けた対応策の充実。
今後(令和5年度以降)の方向性	いじめの対応においては、その兆候を見逃さないことが大切であり、学校のみならず、家庭や地域、関係機関等との実効的な連携が必要となるため、いじめの問題への共通理解を徹底し、協働体制の確立に努める。また、近年、インターネットの普及による「ネットいじめ」も課題となっているため、児童生徒に対する情報モラル教育の充実とともに、学校や家庭との一層の連携を図り、いじめの未然防止や早期発見、早期対応に努める。	今後(令和6年度以降)の方向性	いじめの対応においては、その兆候を見逃さないことが大切であり、学校のみならず、家庭や地域、関係機関等との実効的な連携が必要となるため、いじめの問題への共通理解を徹底し、協働体制の確立に努める。また、近年、インターネットの普及による「ネットいじめ」も課題となっているため、児童生徒に対する情報モラル教育の充実とともに、学校や家庭との一層の連携を図り、いじめの未然防止や早期発見、早期対応に努める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	防災教育推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	学校教育推進課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市教育推進基本計画
目的と概要	防災に関する体験的な学習を実施することにより、子どもたちが地震や津波等の自然災害に対する理解を深め、状況に適切に対応し、自らの命を守ることができるよう主体的に行動できる実践的態度を培う防災教育の推進を図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	30	30	68
財源	一般財源 (千円)	30	30	68
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,120	2,112	2,165
①	職員数 (人)	0.3	0.3	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.2	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○防災教育の推進 東日本大震災や胆振東部地震により、国民の防災に対する意識が高まっている。「いつ起こるか分からない」自然災害への対応については、日頃からの「備え」が重要であることから、本事業の実施により、防災教育が充実するよう支援を行うとともに、子どもたちが身に付けた防災知識が広く各家庭や地域まで波及し、地域の防災力向上につながるような事業展開を目指す。</p> <p>●段ボールベッド体験</p>   <p>●防災カルタ</p>  <p>●津波体験</p>  <p>●煙体験</p>  <p>●避難所体験</p> 	<p>○防災教育の推進 各学校へ防災体験学習への物資等の支援を実施</p> <p><実施校></p> <p>■小学校 7校 ①昭和小学校 ②鶴野小学校 ③東雲小学校 ④美原小学校 ⑤釧路小学校 ⑥清明小学校 ⑦音別小学校</p> <p>■中学校 4校 ①大楽毛中学校 ②共栄中学校 ③春採中学校 ④阿寒中学校</p> <p>■義務教育学校 1校 ①阿寒湖義務教育学校</p> <p style="text-align: right;">合計12校実施</p> <p><内容> 避難所体験、煙体験、地震学習、火山学習、避難訓練、防災ゲーム、津波避難訓練、非常食体験、消防車見学、避難所運営体験、防災かるた</p> <p><協力機関> 北海道教育大学釧路校、釧路地方气象台、釧路総合振興局地域政策課、釧路市消防本部予防課、釧路市防災危機管理課</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	各小中学校で継続的かつ主体的に防災教育を進めるため、教育委員会ではモデルとなる取組や素材の提供、関係協力機関との調整役を担っているが、今後は学校が単独で関係協力機関と調整を図るなど、十分に進めていける体制づくりが必要である。	課題	児童生徒への防災教育の取組や素材の提供等を各関係機関と調整するとともに、学校にとってわかりやすく進めていけるような体制づくりが必要である。
今後(令和5年度以降)の方向性	各学校において、関係機関等との調整など単独で取組ができる仕組みが一定程度構築されたことから、市教委では助言等の側面的支援をしながら、継続して進めていく。	今後(令和6年度以降)の方向性	各学校において、関係機関等との調整など単独で取組ができる仕組みが一定程度構築されたことから、市教委では助言等の側面的支援をしながら、継続して進めていく。


令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	コミュニティ・スクール活用推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	学校教育部教育支援課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市教育推進基本計画
目的と概要	コミュニティ・スクールは、学校・保護者・地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みである。 保護者・地域が学校運営等に関わり、保護者・地域との信頼関係を深めるとともに、学校評価・情報提供の充実・改善など学校運営の在り方について、コミュニティ・スクールの導入促進に関する調査研究及び導入校に関する取組の充実・改善に関する研究を行う。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
財源	事業費 総額 (千円)	177	252	828
	一般財源 (千円)	177	252	828
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,827	2,816	2,886
①	職員数 (人)	0.4	0.4	0.4
参考	市民一人あたりの費用 (円)		1.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
○コミュニティ・スクール活用推進事業 コミュニティ・スクールの導入に向けた課題の解決方法や運用方法、学校運営に当たり関係する機関や組織との連携を進めるための研究・開発に取り組むほか、導入校については、コミュニティ・スクールの充実・改善に関する研究及び実践に取り組む。 (1)コミュニティ・スクール導入校(22校) (釧路小、中央小、大楽毛小、鳥取小、共栄小、光陽小、武佐小、音別小、阿寒小、新陽小、芦野小、湖畔小、山花小、朝陽小、東雲小、共栄中、大楽毛中、音別中、阿寒中、鳥取中、山花中、阿寒湖義務教育) ・熟議と協働の充実を図るための具体的な方策の開発 ・地域とともにある学校づくりに必要なマネジメントの在り方等の研究	○コミュニティ・スクール活用推進事業 実施校における事業実績・成果は以下のとおり。 (1)コミュニティ・スクール導入校(22校) ◎コミュニティ・スクール協議会を開催し、学校運営に対する活発な議論や意見交換を行った。 ◎地域学校協働活動推進員の活用により、学校と学校支援ボランティアが繋がることで、学校に対する理解の深まりや協力体制の強化が図られた。 ◎導入校の協議会委員及び調査研究校の推進委員等を対象に、コミュニティ・スクール研修会をオンライン形式にて実施し、コミュニティ・スクールの必要性や役割等について学びを深めた。  【コミュニティ・スクール研修会の様子】
(2)コミュニティ・スクール調査研究校(8校) (1年目:城山小、幣舞中、北中、桜が丘中) (2年目:青葉小、昭和小、清明小、青陵中) ・保護者や地域への情報発信及び制度理解の促進 ・「目指す子ども像・学校像」のビジョンの明確化 ・学校と地域の連携内容の具体化 ・学校と家庭・地域が連携・協働した特色ある取組みの推進 ・地域と学校の在り方の検討 ・学校教育における地域への協力依頼	(2)コミュニティ・スクール調査研究校(8校) ◎各学校で子どもの特性を理解した上で、地域性も取り入れた「目指す子ども像」を設定した。 ◎学校支援ボランティア等による見守り活動や読み聞かせなど、地域との日常的な繋がりを深める活動を展開した。 ◎キャリア教育など、地域の協力を得て、学校教育を豊かにしていくことを学ぶことができた。

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="width: 50px;">評価</td> <td style="width: 50px;">拡充</td> </tr> </table>		評価	拡充	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="width: 50px;">評価</td> <td style="width: 50px;">拡充</td> </tr> </table>		評価	拡充
評価	拡充						
評価	拡充						
課題	・コミュニティ・スクール制度の活動をより建設的にするためには、地域住民や学校が共通認識できる目標を自主的に見つけ、積極的な議論のもとにより多くの意見を反映させる必要がある。	課題	・コミュニティ・スクール制度の活動をより建設的にするためには、地域住民や学校が共通認識できる目標を自主的に見つけ、積極的な議論のもとにより多くの意見を反映させる必要がある。				
今後(令和5年度以降)の方向性	・教育推進基本計画に基づく目標値である小学校60%、中学校40%の導入率は、計画最終年度の令和4年度に達成したが、引き続き、未導入校の意向確認や地域住民が抱える課題を整理し、準備体制の構築が円滑に進むよう調整していく。	今後(令和6年度以降)の方向性	・教育推進基本計画(第3期計画)に基づく目標値である小・中学校の導入率100%の達成に向け、未導入校において準備体制の構築が円滑に進むよう調整していく。				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

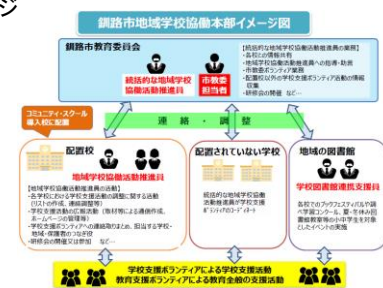


1 事業名等

事業名	地域人材育成推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	学校教育課教育支援課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市教育推進基本計画
目的と概要	学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを支える仕組みであるコミュニティ・スクールの活動を基盤として、学校と地域をつなぐ地域学校協働活動推進員が中心となり、学校支援ボランティア及び教育支援ボランティアの活動を充実させるとともに、他の事業と連動しながら学校・家庭・地域が協働して教育支援に取り組む仕組みを構築する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	2,286	2,231	3,844
財源	一般財源 (千円)	1,386	1,285	1,282
	国道支出金 (千円)	900	946	2,562
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	4,240	4,224	4,329
①	職員数 (人)	0.6	0.6	0.6
参考	市民一人あたりの費用 (円)		14.0	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	

注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1) 年度当初計画	(2) 事業の実績と成果
<p>○釧路市地域学校協働本部事業</p> <p>(1) 学校支援ボランティア、教育支援ボランティアの活性化 ・各学校のボランティア活動の充実に加え、教育委員会の行う教育活動への参加についても、広く周知を行う。 ・学校のニーズを調整し、登録者により多くの活動に参加してもらう機会をつくる。</p> <p>(2) 統括的な地域学校協働活動推進員、地域学校協働活動推進員の配置 ・統括的な地域学校協働活動推進員 教育支援課に配置し、地域学校協働活動推進員と学校との連絡調整や助言、その他学校・家庭・地域の連携協力推進に関わる業務を担ってもらう。 ・地域学校協働活動推進員 コミュニティ・スクール導入校の一部に地域学校協働活動推進員を配置し、学校支援活動の支援ニーズの把握やボランティア活動の実施に向けた調整の役割を担ってもらう。</p> <p>(3) ボランティア登録者のスキルアップ体制の構築 ・ボランティア登録者が活動を通して、スキルアップできるよう、研修会や情報交換ができる機会をつくる。</p> <p>○事業イメージ</p> 	<p>○ 釧路市地域学校協働本部事業</p> <p>(1) 学校支援ボランティア、教育支援ボランティア登録者数 ・学校支援ボランティア 613名 (R3 608名) ・教育支援ボランティア 41名 (R3 51名) ・ホームページの更新、Facebookによるボランティアの募集及び活動情報の発信 ページ登録者 445名 記事掲載 37回</p> <p>(2) 統括的な地域学校協働活動推進員、地域学校協働活動推進員の配置 ・統括的な地域学校協働活動推進員 教育支援課に1名配置 ・地域学校協働活動推進員 釧路小学校1名、中央小学校5名、共栄小学校2名、鳥取小学校2名、大楽毛小学校1名、武佐小学校3名、計14名配置 ・地域学校協働活動推進員交流会実施 8月1日及び8月4日、12月17日、2月15日実施 ※8月1日及び8月4日は人数を分散しての開催</p> <p>(3) ボランティア登録者のスキルアップ体制の構築 ・学校支援ボランティア対象研修会 2月15日(水) 17名参加 釧路市中央図書館、鳥取小学校、大楽毛小学校、武佐小学校、大楽毛中学校、桜が丘中学校でのハイブリッド開催 (Zoomによるオンライン接続)</p>   <p style="text-align: center;">教育支援ボランティアの様子 学校支援ボランティア研修会の様子</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 拡充		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 拡充	
課題	ボランティアの学校間連携による活動の活性化を図ることが必要である。また、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限される中で、オンラインシステム等も活用し、活動内容の充実を図る必要がある。	課題	ボランティアの学校間連携による活動の活性化を図ることが必要である。また、新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類相当となったことにより、オンラインシステム等も活用しながら、いわゆるコロナ禍以前のような活動内容の充実を図る必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	ボランティア活動の啓発のために、一般からも広く募集を行うなど、引き続き積極的な情報発信を広く行っていく。	今後(令和6年度以降)の方向性	ボランティア活動の啓発のために、一般からも広く募集を行うなど、引き続き積極的な情報発信を広く行っていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	放課後子どもプラン事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	学校教育部教育支援課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市教育推進基本計画 釧路市社会教育推進計画
目的と概要	放課後等に小学校の利用可能教室を活用し、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かに育まれる環境づくりを推進する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		2,219	2,262	2,983
財源	一般財源 (千円)	1,784	1,860	2,260
	国道支出金 (千円)	435	402	723
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	1,413	1,408	1,443
①	職員数 (人)	0.2	0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		14.2	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
①放課後チャレンジ教室の実施 興津小学校内の1教室にて、平日(月～金)の放課後に体験・交流・学習活動を行う。	①放課後チャレンジ教室の実施 【開催日数】205日 ※R3:204日 【登録児童数】49人(興津小学校全校児童数の40%)※R3:62人 【参加延人数】2,436人※R3:2,893人 【一日当たりの参加平均人数】12人 多種多様なカリキュラムを日替わりで実施 学習活動・スポーツ活動・伝承遊び・創作活動・読書 等 ◎新型コロナウイルス感染症により様々な活動が制限をされる中、感染症対策を十分に行った中で、年間を通じて活動を継続的に実施することができた。また学校と連携した避難訓練を実施し、活動中における安全確保に対する意識をより高めることができた。
②放課後チャレンジ教室体験活動の実施 豊富な体験活動の機会を提供するとともに、地域の子どもたちと大人の積極的な参画・交流による地域コミュニティの充実のため、教室外での体験活動を実施する。	②放課後チャレンジ教室体験活動の実施 ・クライミング体験(チャレンジ教室児童:8名参加) ◎体験活動を通じて豊かな心を育み、児童同士の交流を図ることができた。
③放課後児童クラブとの連携事業の実施 放課後児童クラブとの連携を推進する観点から、望洋児童センター(放課後児童クラブ)と連携事業を実施し、域内の子どもたちの参加促進を図る。 【開催日数】年3回程度	③放課後児童クラブとの連携事業の実施 ・「こどもまつり」への参加(チャレンジ教室児童:3名参加) ・「ぼうようパラダイス」への参加(チャレンジ教室児童:2名参加) ◎ボランティアが参画し、望洋児童センターと共に活動を行ったことで、地域の連携が深まった。



【クライミング体験の様子】

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table style="display: inline-table; border: 1px solid black;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table style="display: inline-table; border: 1px solid black;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">評価</td> <td style="border: 1px solid black;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアを含めたスタッフ体制の充実 活動中の安全の確保 コロナ禍での活動内容の質の向上 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアを含めたスタッフ体制の充実 活動中の安全の確保 活動内容や体験活動の充実 				
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 適切な新型コロナウイルス感染症予防対策を講じたことにより、継続的に活動を実施することが出来たため、今後は活動内容の質の向上を検討し、またスタッフ体制の充実を図る必要がある。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 地域等と連携して活動内容や体験活動の充実を図ることにより、参加児童数の増加に努めるとともに、スタッフ体制の充実を図る必要がある。 				





令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	指導主事事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	学校教育部教育支援課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	釧路市教育推進基本計画
目的と概要	学習指導要領の完全実施にともない、小学校から高等学校までを通した、外国語教育の校種間連携が一層の高まりを見せていることから、小・中・高の教員の資質向上を図るとともに、外国語指導助手(ALT)を効果的に活用し、子どもたちがより一層外国語に触れる機会を充実させるために本事業を実施する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		130	132	168
財源	一般財源 (千円)	130	132	168
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,120	2,112	2,165
①	職員数 (人)	0.3	0.3	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.8	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>①教職員を対象とした英語研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会の開催 ・授業公開及び協議 ・効果的なチーム・ティーチングに係る研修会 ・小・中・高連携を意識した研修会の実施 <p>②ALT活用事業</p> <p><幼児・小・中学生を対象とした英語に親しむ事業の実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・釧路市English Days(イングリッシュ・デイズ)事業(美術館と連携) ・「図書館で英語にふれよう」(図書館と連携) ・親子遊び「英語で遊ぼう♪」(遊学館と連携) 	<p>①令和4年度小中英語教育連携セミナーの開催</p> <p>【日時】令和4年7月28日</p> <p>【概要】小中高の連携を意識した外国語教育の充実を図ることを目的とし教職員の指導力向上に資する研修を実施した。</p> <p>【参加者】管内小中高等学校教職員 約70名</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">令和4年度の小中英語教育連携セミナー</p> <p>②幼児・小・中学生を対象とした事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したが、各学校における行事等へのALTの派遣を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">釧路市中央図書館でのALTによる読み聞かせ</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、計画していた事業が実施できなかったが、感染対策を行いながら実施方法を工夫することが求められる。今後、小・中・高等学校の系統的な英語教育の推進が求められていることから、小中連携のみならず高等学校までを意識した授業づくりなどが今後一層大切になる。	課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、計画していた事業が実施できなかったが、感染対策を行いながら実施方法を工夫することが求められる。今後、小・中・高等学校の系統的な英語教育の推進が求められていることから、小中連携のみならず高等学校までを意識した授業づくりなどが今後一層大切になる。
今後(令和5年度以降)の方向性	新学習指導要領の改訂により、小学校3年生からの外国語教育が開始されており、子どもたちが外国語に触れる必要性が一層の高まりを見せていることから、さらに本事業を展開できるよう、ALTを活用し外国語教育の充実を図る。	今後(令和6年度以降)の方向性	外国語教育アドバイザーによる小・中・高等学校での複数回の巡回指導や教員を対象とした指導力向上研修など、積極的な授業改善を進め、異文化交流や多様な価値観に触れる機会を創出し、ALTを活用し外国語教育の充実を図る。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	キャリア教育推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	学校教育部教育支援課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市教育推進基本計画 釧路市社会教育推進計画
目的と概要	子どもたちが職業体験にチャレンジし、楽しみながら職業や社会の仕組みを学び、働くことの喜び・苦勞などの体験を通して、職業や社会への興味を育み、将来の自立に繋げる。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		0	0	400
財源	一般財源 (千円)	0	0	400
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,120	2,112	2,165
①	職員数 (人)	0.3	0.3	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.0	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>①くしろキッズタウン 北海道コカ・コーラボトリング株式会社が主催となり、地元企業の協力のもと、小学3・4年生を対象に子どもが主役の仮想の街をつくり、就労・消費体験させることで、働くことの意味や仕事の楽しさ、お金の価値など、「生きる力」を身につけさせる。</p> <p>②くしろ子どもインターンシップ事業 釧路市PTA連合会や商店街振興組合連合会等の協力を得て、小中学生に働くことの大切さや将来について考えてもらう社会体験として、一日職場体験「チャイルド1DAY仕事一日体験」を市内約80店舗、小中学生約100名を見込みながら実施する。</p> <p>③釧路青年会議所との連携事業 平成30年度に釧路青年会議所と結んだ連携協定に基づき、青年会議所による講演等の実施や職場体験学習の場を提供する。</p>	<p>①くしろキッズタウン 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p>  <p>キッズタウン貨幣「まり〜も」</p>  <p>令和元年度職場体験の様子</p> <p>②くしろ子どもインターンシップ事業 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p>  <p>令和元年度職場体験の様子</p> <p>③釧路青年会議所との連携事業 ◎キャリアシンポジウム「ふるさと釧路で働くということ」 (日時)令和4年6月13日 (対象)市立中学校1年生 ※約1,100人</p> <p>◎2022ジョブカフェ釧路 (日時)令和4年9月27日、10月4・5・6日 (対象)市立中学校2年生 ※約1,100人</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業の一部が中止となったことから、GIGAスクール構想により導入したICT機器を活用したオンラインによる開催等、感染症等の影響を最小限とする事業の構築が引き続き必要となる。	課題	・職場体験に参加する児童を増やすため子どもが興味を持つ職種の入力を確保する必要がある。 ・子どもたちが多様な業種の職業体験ができるよう現状よりも受入れ企業を増やすことが必要となる。
今後(令和5年度以降)の方向性	新型コロナウイルス感染症予防対策として、ICT機器の活用によるキャリア教育を推進するとともに、参加児童生徒数の増加や受入企業の確保を図るため、企業や主催者への働き掛けを行いながら継続して実施していく。	今後(令和6年度以降)の方向性	GIGAスクール構想により導入したICT機器の活用によるキャリア教育を推進するとともに、参加児童生徒数の増加や受入企業の確保を図るため、企業や主催者への働き掛けを行いながら継続して実施していく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	学校のあり方検討事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	学校教育部教育支援課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	今後の小中学校のあり方について協議するため委員会及び地域懇談会を実施する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		140	107	1,583
財源	一般財源 (千円)	140	107	1,583
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	10,601	14,080	14,430
①	職員数 (人)	1.5	2.0	2.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)			0.7
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)			0.0
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																																																																														
令和4年度目標 ・釧路市立小中学校のあり方検討委員会より提出された中間報告を基に、7月末までに地域懇談会を市内6カ所(釧路地区4カ所、阿寒・音別)にて開催。 ・地域懇談会終了後は検討委員会を再開し、計画策定に向けて4回の委員会を開催する。 ・(仮称)釧路市立小中学校のあり方計画を策定する。	◎地域懇談会開催(全14回) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th> </th> <th>会場</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>興津小</td><td>R4.7.4</td><td>21名</td></tr> <tr><td>2</td><td>美原小</td><td>R4.7.5</td><td>21名</td></tr> <tr><td>3</td><td>桜が丘小</td><td>R4.7.6</td><td>16名</td></tr> <tr><td>4</td><td>朝陽小</td><td>R4.7.7</td><td>20名</td></tr> <tr><td>5</td><td>共栄中</td><td>R4.7.8</td><td>19名</td></tr> <tr><td>6</td><td>東雲小</td><td>R4.7.11</td><td>18名</td></tr> <tr><td>7</td><td>大楽毛小</td><td>R4.7.12</td><td>30名</td></tr> <tr><td>8</td><td>城山小</td><td>R4.7.14</td><td>57名</td></tr> <tr><td>9</td><td>武佐小</td><td>R4.7.19</td><td>42名</td></tr> <tr><td>10</td><td>鳥取西中</td><td>R4.7.20</td><td>15名</td></tr> <tr><td>11</td><td>音別小</td><td>R4.7.25</td><td>29名</td></tr> <tr><td>12</td><td>阿寒小</td><td>R4.7.26</td><td>15名</td></tr> <tr><td>13</td><td>新陽小</td><td>R4.7.27</td><td>38名</td></tr> <tr><td>14</td><td>青陵中</td><td>R4.7.28</td><td>27名</td></tr> </tbody> </table> ◎委員会開催(全5回) ※委員定数14名 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th> </th> <th>開催日</th> <th>参加委員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>第7回</td><td>R4.4.28</td><td>7名</td></tr> <tr><td>第8回</td><td>R4.5.24</td><td>12名</td></tr> <tr><td>第9回</td><td>R4.8.18</td><td>7名</td></tr> <tr><td>第10回</td><td>R4.11.18</td><td>7名</td></tr> <tr><td>第11回</td><td>R5.2.22</td><td>10名</td></tr> </tbody> </table> ◎釧路市がめざす学校のすがた基本計画策定 (令和4年12月23日)		会場	開催日	参加人数	1	興津小	R4.7.4	21名	2	美原小	R4.7.5	21名	3	桜が丘小	R4.7.6	16名	4	朝陽小	R4.7.7	20名	5	共栄中	R4.7.8	19名	6	東雲小	R4.7.11	18名	7	大楽毛小	R4.7.12	30名	8	城山小	R4.7.14	57名	9	武佐小	R4.7.19	42名	10	鳥取西中	R4.7.20	15名	11	音別小	R4.7.25	29名	12	阿寒小	R4.7.26	15名	13	新陽小	R4.7.27	38名	14	青陵中	R4.7.28	27名		開催日	参加委員数	第7回	R4.4.28	7名	第8回	R4.5.24	12名	第9回	R4.8.18	7名	第10回	R4.11.18	7名	第11回	R5.2.22	10名
	会場	開催日	参加人数																																																																												
1	興津小	R4.7.4	21名																																																																												
2	美原小	R4.7.5	21名																																																																												
3	桜が丘小	R4.7.6	16名																																																																												
4	朝陽小	R4.7.7	20名																																																																												
5	共栄中	R4.7.8	19名																																																																												
6	東雲小	R4.7.11	18名																																																																												
7	大楽毛小	R4.7.12	30名																																																																												
8	城山小	R4.7.14	57名																																																																												
9	武佐小	R4.7.19	42名																																																																												
10	鳥取西中	R4.7.20	15名																																																																												
11	音別小	R4.7.25	29名																																																																												
12	阿寒小	R4.7.26	15名																																																																												
13	新陽小	R4.7.27	38名																																																																												
14	青陵中	R4.7.28	27名																																																																												
	開催日	参加委員数																																																																													
第7回	R4.4.28	7名																																																																													
第8回	R4.5.24	12名																																																																													
第9回	R4.8.18	7名																																																																													
第10回	R4.11.18	7名																																																																													
第11回	R5.2.22	10名																																																																													

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果					
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table style="display: inline-table; border: 1px solid black; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="padding: 2px;">評価</td> <td style="padding: 2px;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table style="display: inline-table; border: 1px solid black; margin-left: 10px;"> <tr> <td style="padding: 2px;">評価</td> <td style="padding: 2px;">継続維持</td> </tr> </table>		評価	継続維持
評価	継続維持						
評価	継続維持						
課題	令和4年度には、中間報告をベースとした市教委作成の学校のすがた基本計画(たたき台)をもって、地域懇談会を実施。その後、基本計画(素案)をもって、教育懇談会・パブリックコメントが実施される。その後、最終答申を実施。	課題	地域懇談会における様々な意見を踏まえ、検討委員会からの答申内容をもとに学校のすがた基本計画(素案)作成した。令和5年度からは基本計画に基づき義務教育学校の設置に向け、開校準備協議会の設置等の取り組みを進める。				
今後(令和5年度以降)の方向性	検討委員会は、令和4年度にて終了	今後(令和6年度以降)の方向性	令和8年度の大楽毛地区・音別地区の義務教育学校の開校に向け、開校準備協議会で検討を進めて行く。				

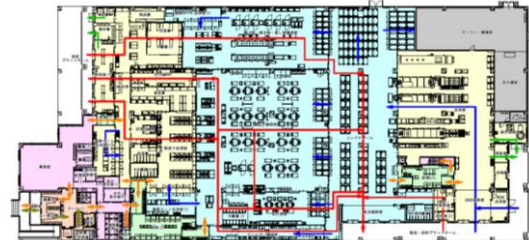

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	新給食センター整備事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	学校教育部教育支援課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	釧路市立学校施設長寿命化計画
目的と概要	老朽化が著しい小学校給食センター(築35年)及び中学校給食センター(築42年)を改築し、阿寒・音別地区を含めた市内全域をカバーする1センター方式で学校給食センターを整備し、衛生管理の向上を図るとともに、学校給食調理業務等の充実、効率化を図り、児童生徒に安全で安心な学校給食を提供することを目指す。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		102,260	81,999	1,184,380
財源	一般財源 (千円)	28,360	1,699	642
	国道支出金 (千円)			98,538
	地方債 (千円)	73,900	80,300	1,085,200
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		515.7	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		505.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○整備スケジュール</p> <p>令和3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設用地取得 ・現況測量 ・基本・実施設計(1カ年目) <p>令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本・実施設計(2カ年目) ・地質調査、土壌調査、プロパン庫移設工事 <p>令和5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設工事(1カ年目) ・外構工事(1期工事) <p>令和6年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設工事(2カ年目) ・外構工事(2期工事) <p>令和7年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月供用開始予定 ・既存施設解体工事 ・外構工事(3期工事) 	<p>○令和4年度事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備にあたり、必要となる各種調査及び工事を完了した。 ・釧路市学校給食センター設計協力業者選定委員会で選定した厨房機器業者の協力の下、実施設計を完了した。 <p style="text-align: center;">1階平面図</p>  <p style="text-align: center;">完成想定図</p> 

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・1センター化により給食の調理配送体制が変わる阿寒・音別地区については、保護者や食材納入業者等に対して丁寧に説明を行う必要がある。 ・現在、釧路、阿寒、音別地区毎に物資を調達していることから、各地区それぞれの献立となっており、給食費が異なっている。新センター運用に合わせ、給食費の統一を図る必要がある。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の配送体系が変わることから、配送計画(案)を作成し、3地区の配送体系を確立する必要がある。 ・調理配送体系が変わる阿寒・音別地区の保護者や食材納入業者に対し、丁寧に説明を行う必要がある。 ・新給食センター運用に合わせ、各地区の給食費統一を図る必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・阿寒・音別地区の保護者及び食材納入業者への説明会を開催する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・阿寒・音別地区の保護者及び納入業者への説明会を開催する。 ・令和7年4月の提供開始に向け、委託業者等を選定し引継ぎ、試験運用等を行う。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	就学奨励事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	学校教育部教育支援課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市教育推進基本計画
目的と概要	特別支援学級等に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学に際し必要となる学用品費等の一部を援助する。 令和4年度は就学援助システムの特別支援教育就学奨励費機能について改修を行った。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○特別支援教育就学奨励費に係る就学援助システム改修 【事業実施の目的】 収入審査における保護者の収入額算定方法について、税制改正に沿った内容に変更する。 また、制度の対象となる特別支援学級の在籍児童生徒数が年々増加していく中で、現行のシステム機能では支給管理業務をすべて賄うことが不可能であることから、業務の効率化及び事務処理ミス防止のため、システム改修を実施する。</p> <p>【対象者】 市立小・中・義務教育学校の特別支援学級(通級指導教室含む)に在籍している児童生徒の保護者。 ※生活保護費受給者、釧路市就学援助受給者、児童福祉施設又は指定医療機関等に当該児童生徒を入所させ就学に係る措置費又は療育の給付を受けている者は対象外。</p>	<p>◎必要なシステム改修を行ったことで、従来と比較し安全かつ確実な審査・支給が可能となった。</p> <p>◎令和4年度支給人数:348人</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		0	732	0
財源	一般財源 (千円)	0	732	0
	国庫支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	0	2,112	0
①	職員数 (人)		0.3	
参考	市民一人あたりの費用 (円)		4.6	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/>		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/> <input type="text" value="終了"/>	
課題	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	課題	制度周知を徹底することで、申請漏れで支給を受けられない世帯が発生することの無いように取り組んでいく。
今後(令和5年度以降)の方向性	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	システム改修が完了したため終了とする。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	口腔健康管理事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	学校教育支援課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 北海道歯・口腔の健康づくり8020推進条例 北海道歯科保健医療推進計画
目的と概要	学校保健事業の一環として、児童の口腔の健康づくりのため、市立小学校においてフッ化物洗口を実施する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>【当初計画】 ○フッ化物洗口の実施 フッ化物応用によるむし歯予防については、国内の多くの研究によりその有効性が示されており、国、北海道においても学校等におけるフッ化物洗口の普及を推奨していることから、12歳児の平均むし歯本数が全国平均を上回る状況である本市において、児童の口腔の健康を確保することを目的として市立小学校においてフッ化物洗口を実施する。 平成27年度に阿寒小学校をモデル校として実施し、平成28年度には新たに11校で、平成29年度には残る14校でも実施し、平成29年12月から市立全小学校で実施している。</p> <p>【実施スケジュール】 2月：新入学説明会で保護者説明・リーフレット配布 4月：新入学児童参加意向確認 5月下旬～：各学校でフッ化物洗口実施</p> <p>【実施方法】 市販製剤「ミラノール」を溶解した洗口液（フッ化物濃度900ppm）により、週に一度の洗口を実施する。（週1回法） ※フッ化物洗口を実施しない児童については、「真水によるうがいを実施する」か「真水でのうがいもしない」のどちらかを選択する。</p> <p>【洗口手順】 ①担任等が各学級で紙コップに注水ポンプから10mlの洗口液を入れる。 ②洗口液入りの紙コップをティッシュペーパーと一緒に児童に配る。 ③フッ化物洗口を希望しない児童に対し適切な対応が取れているか確認する。 ④1分間の洗口（うがい）をし、洗口後、洗口液が入っていた紙コップに吐き出す。 ⑤担任等は誤って飲み込んだ児童がいなかったか確認する。 ⑥紙コップにティッシュペーパーを詰めて水分を含ませ、ゴミ袋に集める。</p>	<p>【事業実績】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施を見合わせた。</p> <p>【代替策】 冬休み中に教育委員会の「すくすくメール」を利用して、家庭での虫歯予防の取組について保護者に通知。</p> <p>【実施事項】 2月：新入学説明会で保護者説明リーフレット配布。</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		99	113	8,046
財源	一般財源 (千円)	99	113	8,046
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.7	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="radio"/> 評価 <input checked="" type="radio"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="radio"/> 評価 <input checked="" type="radio"/> 継続維持	
課題	保護者に対してフッ化物洗口の効果と安全性について丁寧な説明を行い、参加率を高めていく必要がある。	課題	保護者に対してフッ化物洗口の効果と安全性について丁寧な説明を行い、参加率を高めていく必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	フッ化物洗口によるむし歯予防の効果について引き続き検証し、釧路歯科医師会や釧路保健所の協力を得ながら、児童の口腔の健康推進に努める。	今後(令和6年度以降)の方向性	フッ化物洗口によるむし歯予防の効果について引き続き検証し、釧路歯科医師会や釧路保健所の協力を得ながら、児童の口腔の健康推進に努める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	家庭教育支援事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	学校教育部教育支援課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市教育推進基本計画 釧路市社会教育推進計画
目的と概要	近年、家族や職業のあり様、地域社会の変化により、親子が地域の中で豊かな関わりを持ちながら成長発達していくことが難しくなっており、家庭教育力の低下が指摘される中、すべての教育の出発点となる家庭教育の充実のために、社会総がかりでその大切さを考え支援していくことが必要とされている。 本事業は、家庭教育に関する情報の発信や、多様なニーズに応える子育て講座の実施等のほか、不登校等教育的課題を抱える家庭に対して訪問型アウトリーチの手法による直接的な支援を実施することにより、不登校状況の改善及び家庭における教育力の向上を図る。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>○家庭教育支援チームの組織及び運営 福祉・教育分野の連携により、多様なニーズに応える施策を推進し、子育て・家庭教育支援の充実を図ることを目的として、関係各課の職員等により「釧路市家庭教育支援チーム」を組織し、定期的に情報共有を行う。</p> <p>○家庭教育講座の実施 家庭教育推進員がPTA研修会や参観日等の保護者が集まる様々な機会において家庭教育に関する講話を実施する。 ・対象：幼稚園・保育園、小学校、中学校保護者 ・目標：小中学校PTA研修会での実施率を50%とする。</p> <p>○新入学児童保護者説明会時における子育て講話の実施 2月中に全小学校において実施される「新入学時保護者説明会」の機会において、30分程度の「子育て講話」を実施する。 ・実施予定校：小学校26校</p> <p>○家庭教育啓発資料の作成・配布 「早寝・早起き・朝ごはん」を中心とした一日の規則正しい生活習慣の啓発を目的として、保護者や児童生徒を対象に各種啓発資料を作成・配付する。</p> <p>○福祉部局・民間団体・大学との連携による「ファースト・ステップ・プログラム」等の実施 不登校等の状況において、家庭からの第一歩を踏み出すことができない児童生徒に対し、家庭から施設への通所支援や生活習慣等の確立に向けた活動プログラムを実施する。</p>	<p>○家庭教育支援チームの組織及び運営 ・チーム構成 教育支援課長、育成センター所長、指導主事、SC、SSW、教育相談員、家庭教育推進員、統括推進員、ファミリーサポーター、子育て支援センター支援員(以上、教育支援課)、保健師(健康推進課)、児童館担当職員、子育て支援拠点センター職員(以上、こども育成課)、要保護家庭担当職員(こども支援課)</p> <p>○家庭教育啓発資料の作成・配布 ①望ましい生活習慣啓発リーフレットの作成・配布 ◎ 新入学児童保護者説明会の機会を活用し、約1,200枚を配付した。 ②就学時健診における「早ね・早起き朝ごはん」のポスターの掲示 ◎ 新入学児童就学時健診の会場にて、「早ね・早起き朝ごはん」のポスターを掲示した。</p> <p>○福祉部局・民間団体・大学との連携による「ファースト・ステップ・プログラム」等の実施 1 対象児童生徒数 37名 2 活動支援回数 延べ988回 3 通所支援回数 延べ456回 4 社会体験学習 12回</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		2,354	2,423	2,495
財源	一般財源 (千円)	1,188	1,507	832
	国道支出金 (千円)	1,166	916	1,663
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	4,947	4,928	5,051
①	職員数 (人)	0.7	0.7	0.7
参考	市民一人あたりの費用 (円)		15.2	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育講座においては、家庭教育への関心の低い家庭に対する意識啓発や、必要性を認識しつつも講座等の学習の機会に参加できない家庭に対する周知など、効果的な情報発信が必要である。 「ファースト・ステップ・プログラム」については、関係機関等の連携強化など、きめ細やかな支援に向けた体制整備の充実が求められている。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育講座においては、家庭教育への関心の低い家庭に対する意識啓発や、必要性を認識しつつも講座等の学習の機会に参加できない家庭に対する周知など、効果的な情報発信が必要である。 「ファースト・ステップ・プログラム」については、関係機関等の連携強化など、きめ細やかな支援に向けた体制整備の充実が求められている。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育講座の普及啓発に向けて、紙媒体による情報発信のほか、ホームページやSNS等の電子媒体を活用した発信手法も視野に入れ、幅広い周知に努めていく。 関係機関とのネットワークによる連携強化を図るとともに、総合的な支援体制が可能となるよう、「ファースト・ステップ・プログラム」における機能の充実にも努めていく。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育講座の普及啓発に向けて、紙媒体による情報発信のほか、ホームページやSNS等の電子媒体を活用した発信手法も視野に入れ、幅広い周知に努めていく。 関係機関とのネットワークによる連携強化を図るとともに、総合的な支援体制が可能となるよう、「ファースト・ステップ・プログラム」における機能の充実にも努めていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	読書活動支援事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	学校教育部教育支援課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市教育推進基本計画
目的と概要	令和3年度に開催した教育懇談会や総合教育会議、子どもミーティング等における議論を経て、読書活動の必要性・重要性を確認したことから、学校図書室の利用促進につながる魅力づくりに向けた整備と特色ある読書活動の充実を図る。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>●事業概要 魅力ある学校図書館づくりをはじめとした学校・家庭・地域の連携による読書活動への支援</p> <p>①授業・学級 ・朝読書、読書月間の実施 ・学校支援ボランティア、図書委員会による読み聞かせ等</p> <p>②学校図書室 ・生徒会や図書委員会によるポップアップづくり、特設図書コーナーの設置等</p> <p>③家庭・地域との連携 ・中学校区内における読書活動を核とした独自の取り組みを設定し実施等</p>	<p>●事業実績</p> <p>①対象:9,910人(令和4年5月現在 市内児童生徒数) 朝読書やビブリオバトル(書評合戦)など、各学校が様々な取り組みを実施した。</p> <p>②市内中学校14校、義務教育学校後期課程1校で図書室の魅力づくりを実施</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)			80	300
財源	一般財源 (千円)	0	80	300
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	0	1,408	1,443
①	職員数 (人)		0.2	0.2
参考	市民一人あたりの費用 (円)		0.5	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/>		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/> <input type="text" value="継続維持"/>	
課題	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	課題	令和4年度より、市立中学校・義務教育学校後期課程の生徒を対象に実施した事業であることから、今後は小学校等を対象に図書室の整備や読書習慣の定着に向けた魅力づくりの必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	生涯にわたる学びを根底から支える読書活動を推進すべく、中央図書館との連携や、学校ブックフェスティバルでは、本の魅力を紹介し合う「ビブリオバトル」を継続して実施するなど、その内容充実に努め、これまでの学校や家庭、地域と連携した読書活動の取組を進める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	北陽高校英語力向上推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	学校教育部北陽高校
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	グローバル化が急速に発展する中で、国際社会に目を向け、釧路の持続的な発展を担える人材を育成するため、生徒の英語力向上の取組としてALTの専属配置及び英語資格試験受験料助成を実施する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)			3,713	4,891
財源	一般財源 (千円)	0	3,702	4,874
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		11	17
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	0	704	722
①	職員数 (人)		0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		23.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人 (R5.3末現在)				
注2) 市民一人あたりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																														
<p>令和4年度からの普通科単位制の導入に当たり、「国際理解教育の推進」を特色とした教育活動を進めるため、英語教育の充実に重点を置き、以下の取組を行う。</p> <p>(1)外国人英語指導助手活動費 (語学指導を行う外国青年招致事業(JETプログラム)による英語指導助手(ALT)の活用) ・日常的に英語を聞く・話す機会を増やし外国語に慣れ親しむ環境を作るため、北陽高校常駐(毎日)のALT1名を配置する。 ※従来は教育支援課配置のALTが週1回北陽高校を訪問 ・令和4年7月来日予定として、招致に係る経費(渡航費用・旅費・研修費等)及び勤務に要する経費(報酬・住宅借上料等)を計上する。</p> <p>(2)英語資格試験受験料助成 ・生徒が自身の基礎英語力を確認し、更なる向上を目指す意欲を高めることを目的に、英語資格試験に合格した生徒を対象として助成を行う。 ・本校入学者の学力、検定実施日・実施時間の柔軟性を考慮し、実用英語技能検定(英検)準2級を基準とする。 ・TOEIC・GTEC等、各試験・検定試験受験者のスコアが英検準2級と同等とされる範囲であった場合も対象とする。</p>	<p>(1)外国人英語指導助手活動費 ◎新規ALTの配置 令和4年8月1日任命 ◎授業時間 1日平均 2.33時間 ◎通常の授業への参加のほか、リスニングテストの音声問題の実施、学校行事や部活動・同好会への参加などを通して、生徒が日常的に英語を聞く・話す機会を持ち、英語に慣れ親しむことができる環境を作っている。 ◎生徒がALTと交流し、会話を成立させようと努力したり、ネイティブな発音に慣れることを通して、徐々に外国語に対する苦手感・拒否感が軽減され、英語への興味・関心を高めることに役立っている。</p> <p>(2)英語資格試験受験料助成 ◎令和4年度助成実績(英検) (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>準1級</th> <th>2級</th> <th>準2級</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th></th> <th>合格者数(受験者数)</th> <th>合格者数(受験者数)</th> <th>合格者数(受験者数)</th> <th>合格者数(受験者数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3年</td> <td>0(0)</td> <td>0(2)</td> <td>7(9)</td> <td>7(11)</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>0(0)</td> <td>1(6)</td> <td>6(12)</td> <td>7(18)</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>0(0)</td> <td>0(0)</td> <td>6(8)</td> <td>6(8)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0(0)</td> <td>1(8)</td> <td>19(29)</td> <td>20(37)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※受験者数は、学校で把握している人数 ※TOEIC・GTEC等、他の試験は受験者なし</p> <p>【1件当たり助成額(上限)】英検準2級検定料相当額 5,800円 【予算額】5,800円 × 50名 = 290,000円</p> <p>【1件当たり助成額(上限)】英検準2級検定料相当額 5,700円 (予算計上時から△100円) 【支出額】5,700円 × 20名 = 114,000円</p>		準1級	2級	準2級	合計		合格者数(受験者数)	合格者数(受験者数)	合格者数(受験者数)	合格者数(受験者数)	3年	0(0)	0(2)	7(9)	7(11)	2年	0(0)	1(6)	6(12)	7(18)	1年	0(0)	0(0)	6(8)	6(8)	合計	0(0)	1(8)	19(29)	20(37)
	準1級	2級	準2級	合計																											
	合格者数(受験者数)	合格者数(受験者数)	合格者数(受験者数)	合格者数(受験者数)																											
3年	0(0)	0(2)	7(9)	7(11)																											
2年	0(0)	1(6)	6(12)	7(18)																											
1年	0(0)	0(0)	6(8)	6(8)																											
合計	0(0)	1(8)	19(29)	20(37)																											

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見直し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	課題	<ul style="list-style-type: none"> 授業以外の場面も含めて、生徒がALTと関わる機会を更に増やすための工夫が必要である。 現在の英検助成は、合格を前提としていること、英検準2級検定料を上限額としていることから、利用しにくい面があると考えられる。より利用しやすく、受験意欲を高められる制度となるよう研究し、改善していく必要がある。 本事業と、令和5年度に初めて実施する2年次の台湾見学旅行(外国で英語を活用する実体験の場となる)との相乗効果により、英語に対する興味・関心をより一層高めていく必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ALT配置、英語資格試験助成及び台湾見学旅行を北陽高校の国際理解教育の特色として、英語力向上につながるよう総合的・一体的に取組を進めていく。 経済的な理由で英検等の受験を諦めることがないような、利用しやすく、かつ受験意欲を高められる助成制度に見直しを進めるとともに、受験者の増加に結びつくよう、ALTとの交流や授業、台湾見学旅行の取組を通して英語への興味・関心を高めていく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	北陽高校施設管理事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	学校教育部北陽高校
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
目的と概要	令和4年度からの普通科単位制への移行に伴い、生徒が選択科目によって教室間を移動する授業を展開し、普通教室の個人机を複数の生徒が使用することとなるため、従来机に保管していた個人所有物を適切に管理するための個人ロッカーを整備する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

<p>(1)年度当初計画</p> <p>○個人ロッカー整備</p> <p>・令和4年度に単位制を導入する1年次分(定員200名)として、個人ロッカー200個を設置する。</p> <p>※単位制の導入は、令和5年度に2年次、令和6年度に3年次と、段階的に実施することから、3か年計画で整備する。</p> <p style="text-align: center;">【全体計画】 令和4年度 200個(1年次分) 令和5年度 200個(2年次分) 令和6年度 200個(3年次分) 合計 600個</p>	<p>(2)事業の実績と成果</p> <p>◎令和4年度実績</p> <p>1年次分 202個設置</p> <p>※令和4年度の1年次生徒数は、原級留置者を加えて201名となったため、当初予定より2個増とした。</p> <p>(1)仕様 スチール製、南京錠仕様</p> <p>(2)設置内訳 3列3段 20台 2列3段 1台 2列2段 4台</p> <p>(3)設置箇所 4階南側 1年次普通教室前廊下へ設置【写真①～③】</p> <p>(4)使用状況</p> <p>◎生徒自費購入のダイヤル錠を付け、教科書・教材やタブレット端末(個人所有)などの保管に使用している。</p> <p>◎近年、通学時のカバンの重さによる健康被害が問題となっている中、自宅への持ち帰りを要しない一部の教科書・教材等をロッカーに置いて帰ることが可能となり、身体的負担の軽減を図ることができるようになった。</p>
---	---

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		0	2,174	2,459
財源	一般財源 (千円)	0	2,174	2,459
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	0	704	722
①	職員数 (人)		0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		13.7	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				



【写真①】



【写真②】



【写真③】

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持	
課題	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	課題	特になし
今後(令和5年度以降)の方向性	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	令和6年度で整備完了予定、以降は適切な維持管理に努める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	天然記念物保護研究事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	生涯学習部博物館
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市社会教育推進計画
目的と概要	天然記念物として指定されている「春採湖ヒブナ生息地」(国指定)におけるヒブナ並びにキタサンショウウオ(市指定)の保護を進める上で必要な調査や研究を行い、保護に向けた具体的な検討が可能となる情報を蓄積する。あわせて、文化財としての価値を広く市民に紹介する機会を提供する。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>1. 春採湖ヒブナ研究事業 (1)春採湖におけるヒブナ・フナの産卵状況調査(継続) ア)自然の水草の生育状況とヒブナ・フナの産卵状況および産卵魚目視カウント</p> <p>2. キタサンショウウオ保護研究事業 (1)市内全域キタサンショウウオ生息状況調査(継続)</p> <p>(2)キタサンショウウオの保護管理体制の構築 ア)市内生息情報の提供(継続)</p> <p>イ)庁内情報共有体制の強化 ・実効性のある保護管理体制を構築するため、庁内キタサンネット会議等で横断的に議論を深める。</p> <p>ウ)普及啓発の促進(継続) ・企画展や講演会、市内学校への出前授業を通して保護に向けた機運醸成を図る。</p>	<p>1. 春採湖ヒブナ研究事業 (1)春採湖におけるヒブナ・フナの産卵状況調査(継続) ア)令和4年6月22日に湖内27カ所にて水草へのヒブナ・フナの産卵状況調査を行い、6カ所で水草への付着卵を確認した。 イ)ヒブナの産卵巣となる水草(マツモやリュウノヒゲモ等)の群落が前年度に引き続き回復しつつあることを確認した。 ウ)目視調査ではヒブナ産卵魚を確認できなかった。</p> <p>2. キタサンショウウオ保護研究事業 (1)市内全域キタサンショウウオ生息状況調査 令和2年度事業で判明した生息適地エリアのうち、市内国立公園外の現地調査未実施の箇所(約200ha)において産卵調査を実施し、釧路湿原全体でも最大級の生息地(517対の卵のう)の発見等の成果があった。</p> <p>(2)キタサンショウウオ保護管理体制の構築 ア)市内生息情報の提供(継続) 令和4年6月に市webページで本種の「生息適地マップ」や「生息可能性のある土地での工事等に係る調整手順と許可申請の流れ」を公開し、事業者等からの約20件の照会に対して情報提供や指導をおこなった。</p> <p>イ)庁内情報共有体制の強化 庁内情報共有会議を開催し、本事業の調査結果や課題の共有を行い、全庁的な保護の仕組みづくりのための機運醸成に努めた。また、キタサンネット会議については、出席者をそれまでの担当者レベルから課長レベルへと格上げし、体制の強化を図った。</p> <p>ウ)普及啓発の促進(継続) 本事業の成果や本種の生態・現状について企画展やシンポジウム、刊行物等において紹介した。</p> <p>・釧路湿原いきもの展「シベリアン・サラマンダー」 (2022年4月16日(土)～7月3日(日))／会場:博物館 Mホール ・シンポジウム「キタさんトーク～発見!氷河期の小さなサバイバー」 (2022年7月3日(日))／会場:博物館講堂</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	588	561	1,071
財源	一般財源 (千円)	588	561	1,071
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	2,120	2,112	2,165
①	職員数 (人)	0.3	0.3	0.3
参考	市民一人あたりの費用 (円)		3.5	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 拡充	
課題	・令和4年1月にキタサンショウウオが種の保存法による指定種となり、これまで以上の積極的な保護の取組が求められることから、保護施策に必要なデータを収集するための生息実態調査を継続していく必要がある。	課題	・調査により国立公園外にもにおいて新たなキタサンショウウオ生息地が発見され、広範囲に分布していることがわかった。これにより太陽光発電施設の建設等による生息環境の劣化が懸念されるため、実態を把握するため緊急に生息域調査を実施する必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	・ヒブナの産卵状況や水草の生育状況について、継続してモニタリング調査を実施する。 ・キタサンショウウオ分布調査を迅速に進め、生息地の保護・保全に向けた、学校、市民、事業者への普及啓発に努める。	今後(令和6年度以降)の方向性	・ヒブナの産卵状況や水草の生育状況について、継続してモニタリング調査を実施する。 ・キタサンショウウオ生息域調査を迅速に進めると共に、生息地の保護・保全に向けた仕組みづくりや学校、市民、事業者等への普及啓発に努める。


令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	マリモ保護研究事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	生涯学習部阿寒生涯学習課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	マリモ保護管理計画
目的と概要	特別天然記念物「阿寒湖のマリモ」の恒久的な保全対策の確立を目標として、平成24年に策定された「マリモ保護管理計画」に基づき、現存するマリモ個体群と生育環境を適切に保全管理する技術確立すると共に、過去に消滅したマリモ個体群の復元再生に資する調査研究を推進する。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		1,305	1,412	3,766
財源	一般財源 (千円)	1,071	1,284	3,180
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)	234	128	586
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	10,560	10,823
①	職員数 (人)	1.0	1.5	1.5
参考	市民一人あたりの費用 (円)		8.9	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>1)マリモ生育地の植生調査の実施及び保全に向けた調査計画の検討</p> <p>有識者や文化庁などとオンライン会議やヒアリングを実施し、協議や助言を受け、潜水調査等によりマリモや水草の生育分布状況を調査し、生育環境の改善を図るとともに今後の調査計画の検討を進める。</p>	<p>1)マリモ生育地の植生調査の実施及び保全に向けた調査計画の検討</p> <p>令和4年6月から11月にかけて、月1回程度の頻度で潜水調査を実施した。その結果、マリモに影響を与えられている深所(3メートル以深)の水草は、令和3年12月に発生した強風の影響によってほぼ流失したことを確認した。一方、浅所(1.5メートル以浅)のマリモが打ち上げの主な対象となることや、大型のマリモは強風発生後でも湖内に残存することなどが明らかとなった。</p> <div style="text-align: center;">  <p>水深2mの場所で確認した大型マリモ(令和4年7月12日)</p> </div> <p>また、令和5年2月9日、および3月13日に有識者4名に対してヒアリングを実施し、マリモ保全のための課題について助言を受けた。ヒアリングでは、「マリモの移動などを踏まえて健全性を評価できるようにすること」、「水草ばかりに注目せず、他の影響要因との関係を明確にすること」、「マリモの評価ができるまでは対策を急がないこと」、などが指摘され、今後の調査計画の方針を検討する上で重要な知見が集積された。</p>
<p>2)マリモ打ち上げに備えた水中返還作業の準備</p> <p>マリモ打ち上げに伴う水中返還作業に備えた業務委託や消耗品等購入。</p>	<p>2)マリモ打ち上げに備えた水中返還作業の準備</p> <p>本年度にマリモの打ち上げは発生しなかったため、対策を行わず定期的な巡視に留めた。</p>
<p>3)マリモ研究用備品の購入</p> <p>マリモ保護基金を活用し、潜水調査用および湖内環境調査用備品を整備する。</p>	<p>3)マリモ研究用備品の購入</p> <p>マリモ撮影用の水中カメラ一式を購入した。</p>

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 評価 拡充	
課題	<ul style="list-style-type: none"> 深所に繁茂した水草の効率的な刈取り方法の検討。 マリモの分布範囲の縮小をもたらす機序の解明と対策の検討。 将来の気候変動がマリモの生育に与える影響の予測と評価。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> マリモの生育悪化が懸念されているため、マリモの状態を定量的・客観的に評価するための指標が必要とされている。 水草以外の環境因子がマリモに与える影響についても把握する必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 水草の活用に関する調査については、学校との連携体制が整備されてきたため取り組みを継続する。 マリモ群生地の深所の水草量が予想以上に多い一方、同範囲の水草がマリモに与える影響については未解明な部分が多いことから、有識者へのヒアリングなどを通して抜本的な対策に向けた事業計画を立案する。 大学や国の研究機関との共同研究を推進し、将来の気候変動等を含めたマリモ保護に資する科学的なデータを蓄積する。 	今後(令和6年度以降)の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 文化庁補助による天然記念物緊急調査を実施し、マリモや生育地の現況を把握するとともに、マリモの評価指標、マリモと環境項目との因果関係、そして必要な対策などについて整理する(令和9年度までを想定)。 SNS等を活用して情報発信を強化し、マリモの保全に対する理解の普及を図る。



令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	市立美術館企画展開催費補助金<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	生涯学習部生涯学習課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	釧路市社会教育推進計画
	釧路市文化芸術振興計画
目的と概要	市民が芸術文化に親しみ、心豊かな生活を実現させるため、国内外の優れた美術作品の鑑賞機会を提供する。1年に3～4本程度の企画展を開催し、展覧会ごとに学芸員によるギャラリートークや講演会、ワークショップなどの関連イベント等も開催し集客を図る。

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		11,000	11,000	11,000
財源	一般財源 (千円)	0	0	0
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)	11,000	11,000	11,000
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	19,081	19,008	19,481
①	職員数 (人)	2.7	2.7	2.7
参考	市民一人あたりの費用 (円)		69.2	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		69.2	
注1) 釧路市民の人口 159,014人 (R5.3未現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果																
<p>(1)事業支援 企画展開催入館者及び関連事業 ※展覧会開催企画料等として主催する釧路市民文化展実行委員会へ助成</p> <p>①「ルーブル美術館の銅版画展」 会期：4月29日～7月3日(58日間) 入館者見込み：3,000人 【関連事業】ワークショップ他</p> <p>②「MINIATURE LIFE展 一田中達也 見立ての世界」 会期：7月16日～9月11日(51日間) 入館者見込み：5,000人 【関連事業】トークショー他</p> <p>③「小川けんいちワールド」 会期：9月23日～11月13日(46日間) 入館者見込み：2,700人 【関連事業】アーティストトーク他</p>	<p>(1)事業支援 企画展開催入館者及び関連事業</p> <p>①「ルーブル美術館の銅版画展」 会期：4月29日～7月3日(58日間) 入館者：2,932人 【関連事業】 ・ギャラリートーク：参加者96人(全4回) ・ワークショップ「銅板でレリーフを作ろう!」：参加者10人</p> <p>②「MINIATURE LIFE展 一田中達也 見立ての世界」 会期：7月16日～9月11日(51日間) 入館者：18,197人 【関連事業】 ・トークショー：参加者51人【写真1】</p> <p>③「小川けんいちワールド」 会期：9月23日～11月13日(46日間) 入館者：1,808人 【関連事業】 ・アーティストトーク：参加者39人</p>																
<p>(2)アートスクール事業 保育園や幼稚園、学校等の団体鑑賞等において、学芸員の解説や工作体験等を含めた学習環境を創出する。</p>	<p>(2)アートスクール事業 子どもたちに美術鑑賞の機会を提供するため、学校での授業やクラブ活動等をサポート。感染防止対策を行った上で、団体鑑賞のみ実施。 ・事業参加者：334人【写真2】</p>																
 <p>【写真1】 トークショー</p>	 <p>【写真2】 アートスクール</p>																
<p>○入館者等実績 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>入館者(全体)</th> <th>企画展入館者</th> <th>アートスクール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>12,732</td> <td>8,756</td> <td>163</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>10,433</td> <td>4,305</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>27,411</td> <td>22,937</td> <td>334</td> </tr> </tbody> </table>		年度	入館者(全体)	企画展入館者	アートスクール	令和2年度	12,732	8,756	163	令和3年度	10,433	4,305	70	令和4年度	27,411	22,937	334
年度	入館者(全体)	企画展入館者	アートスクール														
令和2年度	12,732	8,756	163														
令和3年度	10,433	4,305	70														
令和4年度	27,411	22,937	334														

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
<p>該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持</p>		<p>該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持</p>	
課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、外出控えの傾向が長期化しており、昨年度に引き続き集客が難しい状況となっている。広報等を通じ、安全安心に利用できる施設であることをPRすることが必要である。	課題	展覧会の入館者数が一過性とならないよう、利用者のニーズを把握する等、魅力ある企画展を開催できるよう検討する必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	コロナ禍でも安全に利用できる施設として、感染対策に万全を期すとともに、魅力ある展覧会を開催し、来館者の増加につなげていきたい。	今後(令和6年度以降)の方向性	国内外の多様な芸術作品を鑑賞する機会を提供するとともに、これまでコロナ禍を考慮して中止していた事業を再開するなどして、美術館の入館者数を増加させる取り組みを進める。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	所蔵作品等巡回事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	生涯学習部生涯学習課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	釧路市社会教育推進計画
	釧路市文化芸術振興計画
目的と概要	市立美術館所蔵作品、展覧会展示作品等の阿寒地区(阿寒まりも祭り)・音別地区(学芸会・学校祭)への巡回展を開催し、学芸員の解説などにより地域の多くの人々が接しやすい展覧会をめざす。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>「阿寒・音別地区巡回展」</p> <p>(1)阿寒地区開催(阿寒湖温泉)</p> <p>①あかん鶴雅別荘邸の座「野の花ギャラリー」 (第73回まりも祭り開催期間)</p> <p>(2)音別地区開催</p> <p>①音別小学校(学芸会開催時)</p> <p>②音別中学校(学校祭開催時)</p> <p>内容:美術館所蔵作品、地元作家、展覧会関係作品等の展示</p>	<p>「阿寒・音別地区巡回展」地元作家作品の展示</p> <p>(1)阿寒地区開催(阿寒湖温泉)</p> <p>①あかん鶴雅別荘邸の座「野の花ギャラリー」【写真1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間:令和4年10月8日～10月10日 (第73回まりも祭りは新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、規模を縮小して開催) ・来訪者:53人 ・内容:地元作家作品展「小川けんいちワールド」 <p>(2)音別地区開催</p> <p>①音別小学校 【写真2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間:令和4年10月28日～11月1日 ・内容:地元作家作品展「小川けんいちワールド」 <p>②音別中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間:令和4年9月30日～10月4日 ・内容:地元作家作品展「小川けんいちワールド」 <p>○音別小学校は学芸会、音別中学校は学校祭の開催時期に合わせ、保護者等が訪れる学校開放日に展覧会実施。</p> <p>(3)その他</p> <p>①マチナカギャラリーの開催(タリーズギャラリー)【写真3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間:令和4年10月4日～11月3日 ・内容:地元作家作品展「小川けんいちワールド」
 <p>【写真1】阿寒地区:野の花ギャラリー</p>	 <p>【写真2】音別小学校</p>
 <p>【写真3】タリーズギャラリー</p>	

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		140	404	188
財源	一般財源 (千円)	140	404	188
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	7,067	7,040	7,215
①	職員数 (人)	1.0	1.0	1.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		2.5	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 継続維持	
課題	巡回展を通して、収蔵品や地元作家の作品を周知するとともに、美術館の利用増加につながるような取り組みが必要。	課題	阿寒地区の巡回展では、観光客による利用が見られるものの、阿寒地区在住の来訪者が少ないため、PR方法を検討する必要がある。
今後(令和5年度以降)の方向性	阿寒・音別地区で、美術館の所蔵作品や地元作家の作品等を紹介する展覧会を開催し、地域の方に身近に芸術文化に触れる機会を提供するため継続したい。また合わせて、美術館事業を広くPRする。	今後(令和6年度以降)の方向性	釧路市内、どの地域に居住しても、身近に気軽に地元ゆかりのある作家の作品や展覧会展示作品などを鑑賞できる場を継続して提供していく。

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	スポーツ合宿誘致推進事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	生涯学習部スポーツ課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略 釧路市社会教育推進計画 釧路市都市経営戦略プラン
目的と概要	各種スポーツ施設の有効活用と地元競技者の技術力の向上など、本市のスポーツ振興、地域活性化及び観光振興に資するため、氷上競技種目を中心に、国内外の競技団体のスポーツ合宿誘致の推進並びに受入れ態勢の充実を図る。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画 令和4年度目標：令和3年度の来訪数を上回ること 令和3年度実績 66団体 1,314人 (1)広告宣伝事業 国内有数の大規模大会にて、釧路市の合宿環境等をPRする。 (2)合宿誘致活動 釧路市のスポーツ資源や、スーパーバイザーの人脈や経験を活かした「釧路市合宿誘致スーパーバイザー協議会」を設立し、釧路市の合宿誘致を行う。 (3)合宿受入体制の充実 スーパーバイザーの人脈を活かした受入の実施や、様々な「おもてなし」を行い、来訪団体の満足度の向上やリピートにつなげる。 (4)支援市民団体運営費補助金の交付 地元選手の競技力向上と地域活性化のために、合宿団体が市民を対象としたスポーツ教室や交流事業を実施。この取り組みを支援するため、団体に対して補助金を交付する。	(2)事業の実績と成果 ◎令和4年度実績 91団体 2,248人 令和4年度の合宿団体数は、これまで最多であった令和元年度に並ぶ91団体となり、コロナ拡大前の件数まで回復している。特に、6月から9月までの夏季期間については、釧路市の冷涼な気候も追い風となり、過去最多の70団体であった。さらに、初来訪の団体数については、スポーツ合宿促進事業による後押しもあり、過去最高の30団体であった。当事業は地域活性化の起爆剤であり、教室等の開催による地元の子どもの技術力向上や競技の普及振興に寄与されることが期待されている。 ※参考【スポーツ合宿促進事業】 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した実施事業。 貸切バスやレンタカー運行料金の一部補助を行った。 ・補助実績 26件 2,318,972円 ・補助を利用した初来訪団体数 12団体
--	--

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費	総額 (千円)	1,691	2,290	2,852
財源	一般財源 (千円)	1,400	2,290	2,852
	国道支出金 (千円)	291		
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	707	704	722
①	職員数 (人)	0.1	0.1	0.1
参考	市民一人あたりの費用 (円)		14.4	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	

◎来訪数の推移



- (1) 広告宣伝事業
 - ・関西実業団陸上競技選手権大会 プログラムへ広告掲出
 - ・全日本実業団陸上競技選手権大会 パネル広告掲出
- (2) 合宿誘致活動
 - ・釧路市合宿誘致スーパーバイザー協議会 設立
 - ・全日本実業団陸上選手権大会へ合宿誘致ブース出展
 - ・全国都道府県対抗男子駅伝競走大会及び実業団チームへの訪問
- (3) 合宿受入体制の充実
 - ・スーパーバイザーによる合宿受入時の対応 (練習試合のマッチング、来訪団体へのコーチング、など)
 - ・歓迎看板の作成及び設置
 - ・来訪団体への飲料水の差し入れ
 - ・来訪時の宿泊施設等の確保、移動手段の手配
- (4) 支援市民団体運営費補助金の交付
 - ・タンチョウリーグ実行委員会などの3団体に補助

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果			
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td>評価</td> <td>継続維持</td> </tr> </table>	評価	継続維持	該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr> <td>評価</td> <td>拡充</td> </tr> </table>	評価	拡充
評価	継続維持				
評価	拡充				
課題 <ul style="list-style-type: none"> ・新規誘致(氷上競技以外)への取り組み強化。 ・継続して来訪して頂けるような練習環境等の充実。 	課題 <ul style="list-style-type: none"> ・7月及び8月に集中する夏季合宿以外の閑散期に、どうやって合宿誘致を進めていくか研究する。 ・冷涼な気候を求めてくるスポーツチームと観光客が、繁忙期に来訪が重なるため、市内の宿泊施設が混みあっており、合宿の受入が困難になる状況である。 				
今後(令和5年度以降)の方向性 <ul style="list-style-type: none"> ・屋外競技(陸上、サッカー、野球等)の誘致促進。 ・アフターコロナを見据え、合宿誘致事業として体制を強化した「釧路市合宿誘致スーパーバイザー協議会」が中心となり、引き続き合宿誘致に取り組んでいく。 	今後(令和6年度以降)の方向性 <ul style="list-style-type: none"> ・閑散期でも来訪してもらえるような合宿誘致を推進していく。 ・過去に貸切バスやレンタカーの費用補助を行い、新規の団体獲得につながったことから、競技団体へニーズ調査を実施し、その結果を参考に支援事業を検討していく。 				

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	全国高等学校総合体育大会開催事業<当初>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	生涯学習部スポーツ課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想
	第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	令和5年度全国高等学校総合体育大会女子バレーボール競技の開催準備

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>令和5年度全国高等学校総合体育大会女子バレーボール競技の開催に向けて、釧路市実行委員会を設立し、大会開催準備に万全を期する。また、先催県や高体連、北海道実行委員会などとの連携や情報収集を行うとともに、大会の開催について市民周知をするため広報活動を行う。</p> <p>令和5年度全国高等学校総合体育大会釧路市・釧路町実行委員会 補助交付金950,000円</p> <p>1.開催準備業務の推進 (1)実行委員会に関すること (2)道との連絡調整に関すること (3)全国高体連との連絡調整等に関すること (4)予算の編成、執行、決算に関すること</p> <p>2.広報・報道関係 (1)広報活動に関すること</p> <p>3.競技関係 (1)競技運営計画に関すること (2)競技・練習会場に関すること (3)競技種目別実施要項等に関すること (4)組合せ抽選会に関すること (5)競技種目別プログラムに関すること (6)競技用具に関すること (7)競技種目別大会ポスターに関すること</p> <p>4.令和4年度全国高等学校総合体育大会 視察に関すること</p> <p>5.宿泊・衛生関係 (1)宿泊計画に関すること (2)配宿に関すること (3)弁当調達に関すること</p> <p>6.保健・医療・救護に関すること</p> <p>7.輸送・警備関係 (1)輸送・交通に関すること (2)交通整理に関すること</p> <p>8.駐車場に関すること</p> <p>9.警備に関すること</p>	<p>令和5年度全国高等学校総合体育大会女子バレーボール競技の開催に向けて実行委員会を設立し、先進地である徳島県及び香川県の大会視察を行った。また、先催県や高体連、北海道実行委員会などとの連携や情報収集を行いながら、大会の開催について市民周知をするため広報活動を行った。実績については主に以下に記載している。</p> <p>1.体制構築 (1)令和5年度全国高等学校総合体育大会釧路市・釧路町実行委員会設立総会</p> <p>2.大会運営準備 (1)令和4年度全国高等学校総合体育大会視察(徳島県・香川県7月26日～8月5日) (2)女子バレーボール競技種目別ポスター募集及び選定 (3)先催県引継ぎ会(徳島県・香川県 11月20日～22日) (4)JTB・JSEC宿泊施設確保・出店関係打ち合わせ 等</p> <p>3.広報活動 (1)大会PRのぼり旗作成・設置 (2)LEDビジョン広告掲載 (3)大会PRマグネット広告掲載 (4)ひがし北海道クレインズホームゲームにて周知活動 ※選手出演動画放送 等 (5)街頭放送広告掲載 (6)市役所敷地内大型看板設置 (7)市内各所にポスター原画展開催 (8)くしろ冬まつり・チューリップ花フェアにて周知活動</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)			950	5,841
財源	一般財源 (千円)	0	950	5,841
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)			
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員人件費 (千円)	0	14,080	14,430
①	職員数 (人)		2.0	2.0
参考	市民一人あたりの費用 (円)		6.0	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/>		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/> <input type="text" value="終了"/>	
課題	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	課題	実行委員会での様々なアドバイスも参考に、大会の周知方法については、引き続き努めていくとともに、大会期間中における不測の事態に対応できるような運営体制が適切に取れるように、北海道とバレーボール専門部と連携していく。 また、全国から訪れる来場者に対して、釧路市をPRできるようなブースを設置して機運を醸成していきたい。 (例:観光案内、ふるさと納税返礼品、長期滞在、ふき紙製品販売など。)
今後(令和5年度以降)の方向性	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	なし(令和5年度をもって終了)

令和4年度実施事業 主要施策成果シート

1 事業名等

事業名	プロスポーツ支援事業<9月補正><12月補正><2月補正>
分類	令和4年度予算の主要事業
所管課・室	生涯学習部スポーツ課
根拠となる計画	釧路市まちづくり基本構想 第2期釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略
目的と概要	釧路市に拠点を置いて活動するプロスポーツチーム運営事業者に対し、ホームゲームの開催等による地域の活性化へ寄与することを目的として、応援する企業が同調して本市に対して寄附をいただく企業版ふるさと納税を財源として、運営事業費の補助金を交付するもの。

2 当初計画と実績・コスト・成果

(1)年度当初計画	(2)事業の実績と成果
<p>1.補助対象</p> <p>(1)補助対象者 市内に拠点を置くプロスポーツチーム運営事業者</p> <p>(2)補助対象者の選定理由・選定方法 釧路市が同チームの活動拠点を市内と認め、かつ地域に密着した活動の実績を有し、地域振興に寄与できる者</p> <p>2.期待される効果 当事業によって、補助対象者の経営状況が改善し、チームが存続し、活躍することでスポーツの力による地域活力の創出が見込まれるとともに、市民に元氣と勇気を与えるスポーツイベントの開催により、子どもたちにおける将来の憧れや夢の醸成、地域経済への波及効果及び地域活性化の効果が期待できる。</p> <p>3.補助対象経費</p> <p>(1)チーム力強化に係る経費 ●プロスポーツチームの選手・スタッフの person 費、遠征費、指導・助言者への謝金、防具等の備品購入に要する経費、公立社会体育施設使用に係る経費、全国規模のプロスポーツリーグに参加するために要する経費、ホームゲーム観戦者数増加のために必要な経費(感染拡大防止のための経費も含む) ●その他、チーム力強化のために必要な経費</p> <p>(2)地域貢献活動に係る経費 ●プロスポーツチームが地域で実施する公式戦への招待、部活動指導、学校訪問、スポーツ教室、下部組織チームと地域のチームとの交流試合等に要する経費 ●プロスポーツチームが地域で実施する地域住民の健康維持増進活動に要する経費 ●その他、プロスポーツチームが実施する地域貢献活動に必要な経費</p> <p>(3)その他、教育長が必要と認める経費</p>	<p>◎令和4年度実績 11件 29,500,000円 内訳) 9月補正分 2件 10,000,000円 12月補正分 5件 8,200,000円 2月補正分 4件 11,300,000円</p> <p>1.令和4年度における補助対象者 ●ひがし北海道クレインズ株式会社(全件・全額)</p> <p>2.事業実施による効果 (令和4年度事業実績報告書より抜粋) ●使途目的としては主に選手への person 費等として活用し、リーグ戦を乗り切ることができた。 ●小学校での道徳授業やスケート授業参加などの地域貢献活動を積極的に展開し、釧路市民との交流を通じてクレインズの認知を図ることはもとより、地域の活力増進への一助となった。</p> <p>3.補助金の使途内訳 ●運営費の一部として、person 費や防具費などに充てられた。</p>

【予算・決算データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
事業費 総額 (千円)		0	29,500	0
財源	一般財源 (千円)	0	0	0
	国道支出金 (千円)			
	地方債 (千円)			
	使用料・手数料 (千円)			
	その他特定財源 (千円)		29,500	
【参考データ】		令和3年度 (決算額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)
参考	職員 person 費 (千円)	0	14,080	0
①	職員数 (人)		2.0	
参考	市民一人あたりの費用 (円)		185.5	
②	市民一人あたりの将来負担額 (円)		0.0	
注1) 釧路市民の人口 159,014 人(R5.3末現在)				
注2) 市民一人当たりの費用は事業費総額/人口、将来負担額は地方債/人口で算出した。				

3 事業実施上の課題と今後(令和6年度以降)の方向性、見通し等

令和3年度実施事業評価結果		令和4年度実施事業評価結果	
該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/>		該当する自己評価結果をリストから選択してください。 <input type="text" value="評価"/> <input type="text" value="継続維持"/>	
課題	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	課題	・議決を踏まえてからの補助金交付となることから、「寄附申出書」の受付期限など、関係各課(都市経営課・財政課)とのスケジュールの共有が必要である。 ・補助金の交付にあたり、補助対象者の経営状況の見える化が必要である。
今後(令和5年度以降)の方向性	令和4年度からの新規事業のため、空欄となります。	今後(令和6年度以降)の方向性	・引き続き市内のプロスポーツチームによる活力を生かした地域活性化への取り組みを進める。